

## 〈資料紹介〉

宝永元 [1704] 年空念上人筆録アイヌ語彙「狄言葉」の  
仮名・音素対応表

佐藤 知 己

目次	1. はじめに
	2. 仮名・音素（現代アイヌ語形）対応表
	参考文献

## 1. はじめに

筆者は既に佐藤(2014)において廻国僧空念上人(1655?-1731)が遺されたアイヌ語資料「狄言葉」について研究を試み、主な表記上の特色、注目すべき事例について言語学的な考察を行った。しかし、前稿では、現代のアイヌ語形のデータは挙げたものの、原稿の分量を抑制する必要上、使用されている仮名表記と現代のアイヌ語形との対応関係については、特に注意される現象を除き、細かなデータを十分に提示できなかつた。本来であれば、一部でなく、すべての事例についての対応データを整理して同時に提示すべきであった。これまでに判明している、比較的妥当と思われる事例に限定したものではあるが、それぞれの仮名表記に対応すると思われる音素または音素連続を提示した表をここで示し、前稿に対する補足としたい。なお、言うまでもないことであるが、仮名に対応する音素表記はあくまでも現代アイヌ語のものであって、当時のアイヌ語の音声を直接示すものではない。

## 2. 仮名・音素（現代アイヌ語形）対応表

ハ	遍川	一	上川と言事ヲハ	遍	な	い	?	た	
		一	下川と言事ヲハ	者	那	い	?	多	一 川の深事ヲハ お本
		一	内ノ者と言事ヲハ	う	し	い	?		一 その物と言事ヲハ 婦
			一 妻をハ	ま	ち	い	?		一 女をハ 本川祢 一 子共ヲハ 本ほ
	川可もひ	一	久敷ト言事ハ	な	可	ら	て	い	?
			一口をハ	者	ろ	う	?		一 貴キ事ハ くミち 亦 志やう可い 一 骨折と言事
									ハ 志んき
	ふ志尔	一	猿ハ一匹も無シ	一	本	う	?		ゐんと獣物猫このことし
		一	父ハ 者ん遍	一	母ハ	者	本	う	?
		一	齒ヲハ	み	ま	け	一	舌ヲ	者
			一 下帯を	飛	や	う	?		川ゝけ 一手ぬくいを せん可起
			一 兄を	ゆ	ふ	本	う	?	一 弟をハ 者ゝ起 一 あ年を 志や者

一妹をハ 飛志や	う	?	本う 一乳をハ 姦可し 一飛ち <sup>ゝ</sup> を 志
一内ノ者と言事ヲハ	うし	お	? い 一その物と言事ヲハ 婦
一冬ハ 万多 一めしヲハ	あ	a	ま母 一飛ヘヲハ 飛や者 <sup>ゝ</sup>
一粟ヲハ むじ路 一火ヲハ	あ	a	遍 <sup>ゝ</sup> 一あめヲハ あぶと
一火ヲハ あ遍 <sup>ゝ</sup> 一あめヲハ	あ	a	ぶと
但雨降る杯ハ	あ	a	ふど免しと言
事ヲハ い志やま 一物の在事ヲハ	あ	a	年ハお可い
一浪ヲハ の多 一海ヲハ	あ	a	川い 一舟をハ ちつ婦
一喰事をハ	あ	a	遍 <sup>ゝ</sup> 一吞事をハ くう 一薪と言事ハ ちく尔
一火薪と云事をハ	あ	a	べあ連 一水をハ 王川可
一火薪と云事をハ あべ	あ	a	連 一水をハ 王川可
一う連しいと言事ハ きろゝ	あ	a	ん 一肴ト言事ハ せ川婦
一たこをハ	あ	a	川い那 一鮑ヲハ あい飛 <sup>ゝ</sup> 一稻ヲハ せ
一たこをハ あ川い那 一鮑ヲハ	あ	a	い飛 <sup>ゝ</sup> 一稻ヲハ せ
一海ノ神ト言事ヲハ	あ	a	つい可もい 一酒ハ酒なり 一熊ヲハ 本くゆく
一う久ひハ 志ぶん 一蟹ハ	あ	a	ん者や
一戸をハ	あ	a	者 <sup>ゝ</sup> 一何ニ而も長キ物ハ 志をふ 茶ハ茶也
一いろりハ いぬへ 一火者しハ	あ	a	遍 <sup>ゝ</sup> 者し
一甥ハ かりこ 一類共ハ	あ	a	者 <sup>ゝ</sup>
一火のもゆるをハ	あ	a	遍 <sup>ゝ</sup> あり 一可つ堂ゝくをハ あへれん本う
一火のもゆるをハ あ遍 <sup>ゝ</sup>	あ	a	り 一可つ堂ゝくをハ あへれん本う
ハ あ遍 <sup>ゝ</sup> あり 一可つ堂ゝくをハ	あ	a	へれん本う
くべるヲ 連ん本う 一腹痛ヲ 徒い	あ	a	類可
志やん 一天上へ上ル事ヲ 里起多	あ	a	満
一西風ハ 志む連ら 一東風ハ	あ	a	し 一 同飛可多も同前
一介むり立を 志ぶや	あ	a	ん 一納る事ヲ 姦志やむ 一綱をハ や
を いらま可し尔 一浦山敷を	あ	a	いの者 <sup>ゝ</sup>
ニハ 連婦 四つニハ い年婦 五つニハ	あ	a	し起年ふ 六つニハ い者ぬ遍 <sup>ゝ</sup>
七つニハ	あ	a	るあん遍 <sup>ゝ</sup> 八つニハ 徒遍 <sup>ゝ</sup> さん遍 <sup>ゝ</sup> 九つニハ 志年遍 <sup>ゝ</sup> さん遍 <sup>ゝ</sup>
七つニハ ある	あ	a	ん遍 <sup>ゝ</sup> 八つニハ 徒遍 <sup>ゝ</sup> さん遍 <sup>ゝ</sup> 九つニハ 志年遍 <sup>ゝ</sup> さん遍 <sup>ゝ</sup>
五十八前ノ五つの言葉同前 百ハ	あ	a	しき年本つ 千ハ 王ん遍 <sup>ゝ</sup> 志年ま本つ
な本つ 一東ハ 志年志やけ 二十五ヲハ	あ	a	しき年い可志満本つ 右是迄物の数可そへ候事
一何方ヨリ来ルトいふヲハ 祢王	あ	a	りき 一とこへ行トいふヲ 祢多おまん
一一切の道具外底ヲ	あ	a	志やま 一破れる物を あん遍 <sup>ゝ</sup> うぶし
一人の物を	あ	a	んぬんくる遍 <sup>ゝ</sup> 一何者といふヲ 祢んくう
天をハ 里起多ん 一雨のふるをハ	あ	a	し 一硯をハ
者堂類 一弓を くう 一矢を	あ	a	い
一矢ノ根を	あ	a	いるむ 一鉄砲ハ 鉄砲也 一合掌ハ お可む
可れ 一腹を くい 一痛事ヲ	あ	a	る
一鯉の魚ヲハ 志べ 鯛ノ魚をハ い	じ	ca	屋耳
一き多ひと言事ヲハ い川	志	ca	や介 <sup>ゝ</sup> り 一さむいと言事ハ めいらいけ連
ヲ 姦ち本可ひ 一むさい事ヲ いつ	志	ca	やけ連
姦ち本可ひ 一むさい事ヲ いつ志	や	ca	け連
一鯉の魚ヲハ 志べ 鯛ノ魚をハ いじ	屋	ca	耳
と言事ハ きろゝあん 一肴ト言事ハ	せ	ce	川婦
耳の本くちハ かる志 一錢をハ い	ち	ce	姦ん
の本くちハ かる志 一錢をハ いち	姦	ce	ん
一粟ヲハ む	じ	ci	路 一火ヲハ あ遍 <sup>ゝ</sup> 一あめヲハ あぶと
一鶴ハ 遍多	ち	ci	り 一雁ハ くいとう 一鴨ハ こべ志
一燕ハ	ち	ci	ひ屋川 一可もめハ 可ひこ
一星ヲハ の	ち	ci	う 一雲ヲハ 尔しくろ 一人ヲハ 志やも
一なく事ヲハ	ち	ci	し可類 一念比人ヲハ とくい 一我と言事ヲハ て
			う可ひ
一海ヲハ あ川い 一舟をハ	ち	ci	つ婦
一吞事をハ くう 一薪と言事ハ	ち	ci	く尔
一衣類をハ	ち	ci	め婦 一 お川とゝいふ事をハ ほく

一 妻をハ	ま	ち	ci	い	一 女をハ	本川祢	一 子共ヲハ	本 <sup>ほ</sup>		
一 紙をハ	可ん飛?	一米	ち	ci	い	志やまも	一 帰る可と言事ハ	へと川ふ		
	一家をハ		ち	ci	せ	一 鷲ハ	か者 <sup>ぢり</sup>	一 熊鷹	あち	
一家をハ	ちせ	一 鷲ハ	か者 <sup>ぢり</sup>	ち	ci	り	一 熊鷹	あち		
	一 惣而山の木をハ		ち	ci	く	尔といふ	一 山ノ谷をハ	遍つ徒る		
一 伯父ハ	志りか多者		ち	ci	り	一 高き処へ上ルを		へめ寿		
うをハ	右同断	一 御太儀ト言を	う	ち	ci	な	可連			
是ヨリハ	同断	一 物のおれる事ヲ	者	ち	ci	り				
	一 御前様トいふを	ゑ	ち	ci	お	可ひ	一 うぬとハ	や尔	一 一切の道具の	
一 墨ハ	者 <sup>ぢり</sup> 川し	一 舟のおもてハ		ち	ci	つ	ふな			
	一 舟のともをハ		ち	ci	つ	婦お志よろ	一 舟ノ中を	ちつふのしけた		
をハ	ちつ婦お志よろ	一 舟ノ中を		ち	ci	つ	ふのしけた			
	一 舟の帆を	可や	一 帆柱	ち	ci	川	婦可や尔	一 繩を	者りき可	
ふを	遍満可らい	一 舟ニ乗レトハ		ち	ci	婦 <sup>お</sup> ふ				
	一 火ヲもミテ出スを		ち	ci	起	志や <sup>ゝ</sup>	一 本くちハ	む尔ん		
一 志りをハ	おそろ	一 玉く起ハ		ち	ci	一 玉門を	本川キ			
一 笠ハ	かぶら	一 舟の可ひを	か	ぢ	ci	一 婦しきをハ	ね			
一 海ヲハ	あ川い	一 舟をハ	ち	つ	ci	婦				
おしまけ	一 山ノ下をハ	ゆぶりや		う	co	ろ	うほう			
	一 我といふヲて		う	co	可	ひ	一 爰へ来ルといふヲ	多んこ多んゑく本ろ		
一	そ那多と言事をハ	ゑ	ち	co	や	う可ひ	一 み多くないと言事ハ	可もやし		
比人ヲハ	とくい	一 我と言事ヲハ		て	co	う	可ひ			
	一 我といふヲ		て	co	う	可ひ	一 爰へ来ルといふヲ	多んこ多んゑく本ろ		
ハ	おしまけ	一 山ノ下をハ	ゆぶり	や	co	う	ろうほう			
一二月ヲ	者ぶらく	一 三月ヲ	もち	う	cu	ふ				
一 風ヲハ	連いら	一 日月ヲハ		徒	cu	ゝ	婦			
こ本寿事ヲ	本いつけ	一日の暮を		徒	cu	ふ	らんむ			
	一 正月を	と	い	e	多	年	一 二月ヲ	者ぶらく	一 三月ヲ	もちうふ
	一 不知といふ事ハ		い	e	ら	もし可れ	一 腹を	くい	一 痛事ヲ	ある
一	来る可と言事ヲハ		ゑ	e	可		一 殿といふ事ヲハ	かもいと		
	一 所那多と言事をハ		ゑ	e	川	くや共言				
	一 休と言事		ゑ	e	ち	やう可ひ	一 み多くないと言事ハ	可もやし		
をハ	連婦多	一 是悲ないといふを		ゑ	e	志	起 <sup>なん</sup>	一 おけといふ事ヲ	ほつ本う	
	一 主といふハ		ゑ	e	ち	一 小袖ハ	志やら遍	一 頭ノ髪	いもくふ	
	一 御前様トいふを		ゑ	e	ち	お可ひ	一 うぬとハ	や尔	一 一切の道具の	
一人を同道シ而合せんといふ	徒らハ		ゑ	e	く	ぬ可るなんころ				
	一 鼻を		ゑ	e	川	婦	一 く志やミを	ゑしな	一 耳を	き志やら
一 鼻を	ゑ川婦	一 く志やミを		ゑ	e	し	な	一 耳を	き志やら	
一 としぬけと生物	一 川をそハ		ゑ	e	志	やまん	一 蛇ハ	とく	尔	
	一 脇差ハ		ゑ	e	む	し	一 やりハ	おつ婦	一 大豆ハ	大豆也
本ろのやい志と満	一 御身ト言事ハ		や	ea	尔					
祢尔本 <sup>ほ</sup>	一 御身可子トいふヲ		や	ea	尔	本 <sup>う</sup> ほ				
トいふを	ゑちお可ひ	一 うぬとハ		や	ea	尔	一 一切の道具の			
一 雪ヲハ	お者 <sup>せ</sup>	一 風ヲハ	連	い	H	ら	一 日月ヲハ	徒 <sup>ゝ</sup> 婦		
	一 神ヲハ	志		い	H	の	の	本り可もひ	一 侍と言事ヲハ	尔し者
い川志や介 <sup>り</sup>	一 さむいと言事ハ	め	い	H	ら	い	け	連		
一 紙をハ	可ん飛?	一米	ち	い	H	志	やまも	一 帰る可と言事ハ	へと川ふ	
事ハ	かつむいり	一 者や起事ハ	徒	い	H	な	し			
	一 南風ハ	同連	い	H	ら	一 北風ハ	まく那	一 静ヲハ	者うけ	
人ヲハ	とくい	一 我と言事ヲハ	て	う	H	可	ひ			
お者く	一 右道と言事ヲハ	者るきる		う	H					
一	中道と言事ヲハ	志ん志起る		う	H	一	左道と言事ヲハ	志もんるう		
起るう	一 左道と言事ヲハ	志もんる		う	H					
喰事をハ	あ遍 <sup>ゝ</sup>	一 吞事をハ	く	う	H	一	薪と言事ハ	ちく	尔	
一	塩をハ	志川本	一 粥をハ	う	H	せ	一 行事ハ	おま	□	
一	所那多と言事をハ	ゑちや		う	H	可	ひ	一 み多くないと言事ハ	可もやし	

一口ノ内ニ而物のとける事ヲハ	る	う	H	
川蟬ハ	志や	う	H	可ひ 一山姥をハ 志よう多んころ 一や年ハ せ起たひ
一者シハ 者 <sup>ゝ</sup> す 一なべ	志	う	H	一釜 右同断
一座敷をハ	しや	う	H	一寝間を しやうき 一臺所を う志や
一山ノ尾をハ	く	う	H	一山ノ平ハ う類ことり 一山ノ頭上を ゆぶりきたい
あり 一可つ堂 <sup>く</sup> をハ	あへれん本	う	H	
一火ヲべるヲ	連ん本	う	H	一腹病ヲ 徒いあ類可
一昼をハ	と	う	H	かつふ 一昼過をハ とうかつふ本け連
昼をハ とうかつふ	一昼過をハ	と	う	かつふ本け連
ほ 一御身可子トいふヲ	や尔本 <sup>ゝ</sup>	う	H	ほ
青キ事ヲ	志う年ん	一赤キ事ヲ	ふ	う
一か川ぎをハ	な者堂類	一弓を	く	う
一あ満イト言事ハ	と	ふ	H	へ 一口ノからいと言事ハ は類可流
一むこハ	か	ふ	H	ゝ 一妻ハ こしまち 一女房を まち
満可らい	一舟ニ乗レトハ	ち婦 <sup>お</sup>	ふ	H
一兄を	ゆ	ふ	H	本 <sup>う</sup> 一弟をハ 者 <sup>ゝ</sup> 起 一あ年を 志や者
遍 <sup>ゝ</sup> あり 一可つ堂 <sup>く</sup> をハ	あへれ	ん	H	本 <sup>う</sup>
一火ヲべるヲ	連	ん	H	本 <sup>う</sup> 一腹病ヲ 徒いあ類可
一 同浅キと言事ヲハ	お	者	ha	く 一 右道と言事ヲハ 者るきるう
事ヲハ	お者く	一 右道と言事ヲハ	者	ha
一 湯をハ	せ <sup>く</sup> 可	一 汁をハ	お	者
一丈夫ハ	く多り	一父ハ	者	ha
り	一父ハ	者ん遍 <sup>ゝ</sup>	一母ハ	者
一伯父ハ	志りか多	者	ha	ちり 一高き処へ上ルを へめ寿
一北風ハ	まく那	一静ヲハ	者	ha
是ヨリハ同断	一物のおれる事ヲ	者	ha	うけ
一帆柱	ち川婦可や尔	一繩を	者	ha
一弟をハ	者 <sup>ゝ</sup> 起	一あ年を	志や	者
汗の出を	本婦らい	一に志んをハ	て	he
米	ちい志やまも	一帰る可と言事ハ	へ	he
志りか多者ちり	一高き処へ上ルを	へ	he	め寿
おまん	一何ニ而も出ルといふ事ハ	へ	he	とく
一物の曲多るを	一坊主をハ	遍	he	うけ 一少トいふを 本ん 一物の遍多を やひやる
飛 <sup>ゝ</sup> るか	一山へ上ルをハ	の本り	遍	he
一此方へよれといふを	遍	遍	he	めれ寿おりた
ハ	ちめ婦	一 お川と <sup>く</sup> いふ事をハ	ほ	ho
女をハ	本川祢	一 子共ヲハ	本 <sup>ゝ</sup>	ほ
一 男の子をハ	本 <sup>く</sup> 年本 <sup>ゝ</sup>	ほ	ho	一 女の子をハ ま川年本 <sup>ゝ</sup> ほ
年本 <sup>ゝ</sup> ほ	一 女の子をハ	ま川年本 <sup>ゝ</sup>	ほ	ho
ゑ志起 <sup>ゝ</sup> なん	一 おけといふ事ヲ	ほ	ho	つ本 <sup>う</sup>
一 誰子トいふヲ	祢尔本 <sup>ゝ</sup>	ほ	ho	一 御身可子トいふヲ や尔本 <sup>う</sup> ほ
ほ	一 御身可子トいふヲ	や尔本 <sup>う</sup>	ほ	ho
ハ	者 <sup>ゝ</sup> 那い多	一 川の深事ヲハ	お	本
一 男の子をハ	本	ho	ho	く年本 <sup>ゝ</sup> ほ 一 女の子をハ ま川年本 <sup>ゝ</sup> ほ
可もい	一 酒ハ酒なり	一 熊ヲハ	本	ho
ふ志尔	一 猿ハ一匹も無シ	一	本	ho
一先ゆけと言ヲ	本	ho	ho	うるんと獣物猫このことし
一よぶといふ事ヲ	本	ho	ho	起の者い 一 跡ニ残連といふヲようしおまん
一昨日を	ぬまん	一昨日を	本	ho
十二ハ	王ん遍 <sup>ゝ</sup>	二十ハ	本	ho
王ん遍 <sup>ゝ</sup>	二十ハ	本 <sup>つ</sup>	三十八	王ん遍 <sup>ゝ</sup>
本 <sup>つ</sup>	三十八	王ん遍 <sup>ゝ</sup>	本	ho
三十八	王ん遍 <sup>ゝ</sup> 本 <sup>つ</sup>	四十二ハ	徒	本
前ノ五つの言葉同前	百ハ	あしき年	本	ho
ハ	あしき年本 <sup>つ</sup>	千ハ	王ん遍 <sup>ゝ</sup> 志年まな	本
万ハ	王な	本	ho	つ
			ho	つ 一束ハ 志年志やけ 二十五ヲハ あしき年い可志満
			ho	本 <sup>つ</sup> 右是迄物の数可そへ候事

志やけ 二十五ヲハ あしき年い可志満	本	ho	つ	右是迄物の数可そへ候事
一者やくいそけといふヲ	本	ho	くれ者へ	一火打ハ 火うち也
一山ノ尾をハ くう 一山ノ平ハ	う	hu	類ことり	一山ノ頭上を ゆぶりきたい
一断 一鮎ヲハ む 一鯨をハ	く	hu	ん遍?	
一桑ノ木をハ	く	hu	連婦ル	一梨の木ハ 右同断 一柿ハ右同断 一本も無之
一屋くはん 右同断 一御なべ	ふ	hu	れ可尔志ゆ	一 むしろ 右同断
一青キ事ヲ 志う年ん 一赤キ事ヲ	ふ	hu	う連	
一杉の木をハ 志ゆんぐ 一松をハ	婦	hu	川婦	一くりをハ やむ
一雉子ハ無シ 一山鳥ハ	婦	hu	ミ類い	一鳩ハ くしほ
ふハ 本う婦 一な満尔へな類事ハ	婦	hu		
一物之無キ事ヲハ	い	i	志やま	一物の在事ヲハ あ年ハおこい
一き多ひと言事ヲハ	い	i	川志や介り	一さむいと言事ハ めいらいけ連
と言事ヲハ 一痛ト言事ヲハ	い	i	多しや(ゝ)	
一鮭の魚ヲハ 志べ 一鯛ノ魚をハ	い	i	じ屋耳	
一茶せん 右同断 一ご起を	い	i	多げ	
へ 一?ハ 里可尔 一者りハ	い	i	てめ尔	
丁ハ ゑびらけ 一可んなべハ	い	i	よまれ	
一いろりハ	い	i	ぬへ	一火者しハ あ遍者し
恋事ヲ ゑち本可ひ 一むさい事ヲ	い	i	つ志やけ連	
三ツニハ 連婦 四ツニハ	い	i	年婦 五ツニハ	あし起年ふ 六ツニハ い者ぬ遍
い年婦 五ツニハ あし起年ふ 六ツニハ	い	i	者ぬ遍	
一束ハ 志年志やけ 二十五ヲハ あしき年	い	i	可志満本つ	右是迄物の数可そへ候事
の耳の本くちハ かる志 一錢をハ	い	i	ちゑん	
一血をハ と川と 一腰をハ	い	i	へけ	一きんハ の起
一柱ハ	ゆ	i	く寿へ	一?ハ 里可尔 一者りハ いてめ尔
むり立を 志ぶやあん 一納る事ヲ	ゑ	i	志やむ	一綱をハ や
ヲ 本起の者い 一跡ニ残連といふヲ	よ	iyō	うしおまん	
一まさ可りを むくかり 一可満ハ	よ	iyō	く遍	一鍬ハ く川く王
事を か満かり 一物を突を	ゆ	iyū	だ	
一春ハ 者い可類 一夏ハ	さ	k	一秋ハ徒可くふ	
一 同浅キと言事ヲハ	お者	k	一 右道と言事ヲハ	者るきるう
ゑ川	く	k	や共言	
ちめ婦 一 お川とゝいふ事をハ	ほ	k		
一酒ハ酒なり 一熊ヲハ 本くゆ	く	k		
一鹿ヲハ ゆつ	く	k	一水神ヲハ 遍川可もひ	一久敷ト言事ハ な可らてい
ま多へと	く	k		
一人を同道シ而合せんといふ 徒らハゑ	く	k	ぬ可るなんころ	
まさ可りを むくかり 一可満ハ	よ	k	遍	一鍬ハ く川く王
一鹿ヲハ ゆ	つ	k	く	一水神ヲハ 遍川可もひ 一久敷ト言事ハ な可らてい
多 一蟬ハ や起 一川鳥ハ	可	つ	けん	
一あの子といふ事	お	つ	可ひ	一ま川寿くとハ なるおまん
ゑ川	川	k	くや共言	
と云事をハ あべあ連 一水をハ 王	川	k	可	
一燕ハ ちひ屋	川	k	一可もめハ 可ひこ	
ゑ可 一殿といふ事ヲハ	か	ka	もいとの	
一家をハ ちせ 一鷲ハ	か	ka	者ちり	一熊鷹 あち
一姪ハ ま川可りこ 一甥ハ	か	ka	りこ	一類共ハ あ者
一おそ起事ハ	か	ka	つむいり	一者や起事ハ 徒いなし
起なんこ路 一下ニいよとハ 志り	か	ka	多あ遍	
能可といふ事を 飛る	か	ka	一山へ上ルをハ	のノり遍めれ寿おりた
一昼をハ とう	か	ka	つぶ	一昼過をハ とうかつふ本け連
をハ とうかつふ 一昼過をハ とう	か	ka	つぶ本け連	
可のおまん 一よいといふを 飛る	か	ka		
こ連てもといふヲ たん遍 祢 可い起飛る	か	ka	一物ヲ法を	
一木の耳の本くちハ	か	ka	る志	一錢をハ いちゑん
一本しいことを らんるし 一金ハ	か	ka	尔	一銀ハ 連多るカル

一金ハ	カル	一銀ハ	連多る	か	ka	尔			
		一春ハ	者い	可	ka	類 一夏ハ さく 一秋ハ徒可くふ			
		一	なく事ヲハ	ちし	可	ka 類 一 念比人ヲハ とくい 一 我と言事ヲハ てう可ひ			
ヲハ	とくい	一	我と言事ヲハ	てう	可	ka 一 殿といふ事ヲハ かもいとの			
		一	来る可と言事ヲハ	ゑ	可	ka もひ 一 禁中様ヲハ ぼんゝの可もひ			
		一	將軍様ヲハ	ぼんの	可	ka もひ			
んの可もひ	一	禁中様ヲハ	ぼんゝの	可	ka	もひ 一 侍と言事ヲハ 尔し者			
		一	神ヲハ	志いのの本り	可	ka			
云事をハ	あべあ連	一	水をハ	王川	可	ka 一 汁をハ お者 一 塩をハ 尔し□			
		一	湯をハ	せゝ	可	ka ひ 一 み多くないと言事ハ 可もやし			
		一	そ那多と言事をハ	ゑちやう	可	ka もやし			
		ちやう可ひ	一	み多くないと言事ハ	可	ka			
をハ	遍そり	一	山ノ神をハ	の本類	可	ka もい 一 山ヲハ			
		一	海ノ神ト言事ヲハ	あつい	可	ka もい 一 酒ハ酒なり 一 熊ヲハ 本くゆく			
		鹿ヲハ	ゆつく	一 水神ヲハ	遍川	可	ka もひ 一 久敷ト言事ハ な可らてい		
ハ	遍川可もひ	一	久敷ト言事ハ	な	可	ka らてい			
			一	紙をハ	可	ka ん飛? 一米 ちい志やまも 一 帰る可と言事ハ へと川ふ			
とふへ	一口ノからい	一	言事ハ	者類	可	ka 流			
				川蟬ハ	志やう	可	ka ひ 一 山姥をハ 志よう多んころ 一 や年ハ せ起たひ		
		一	柱ハ	ゆく寿へ	一?ハ	里	可	ka 尔 一 者りハ いてめ尔	
		水走り	右同断	一	志やくしをハ	可	ka せう婦 一 飛さくハ 婦起な		
		一	屋くハん	右同断	一	御なべ	ふれ	可	ka 尔志ゆ 一 むしろ 右同断
					一	姪ハ	ま川	可	ka りこ 一 甥ハ かりこ 一 一類共ハ あ者
ハ	右同断	一	御太儀ト言を	うちな	可	ka 連			
		一	海上な起多るをハ	のと飛び	可	ka 一 大波立るあらいをハ るやベ本			
るヲ	連ん本う	一	腹病ヲ	徒いあ類	可	ka			
		一	天氣能をハ	志り飛類	可	ka 一天をハ 志り 一 何ニ而も			
婦多	一	是悲ないといふを	ゑち連ん	可	ka	ひ			
志やうら	一	よふ来多といふヲ	飛る	可	ka				
皆此方へ	よれといふヲ	お	ふび多の志やたお	可	ka	ひ			
		一	よく行とふヲ	飛る	可	ka のおまん 一 よいといふを 飛るか			
		一	こ連てもといふヲ	たん遍祢	可	ka い起飛るか 一 物ヲ法を			
束ハ	志年志やけ	二十	五ヲハ	あしき年い	可	ka 志満本つ 右是迄物の数可そへ候事			
		一	御前様トいふを	ゑちお	可	ka ひ 一 うぬとハ や尔 一 一切の道具の			
		一	一切ノ物の内ニ在をハ	ら婦多お	可	ka 一			
			一	我といふヲてう	可	ka ひ 一 爰へ来ルといふヲ 多んこ多んゑく本ろ			
			一	舟の帆を	可	ka や 一 帆柱 ち川婦可や尔 一 繩を 者りき可			
		一	舟の帆を	可	ka	や尔 一 繩を 者りき可			
		帆柱	ち川婦可や尔	一	繩を	者りき	可	ka	
人を同道シ	而合せんといふ	徒らハ	ゑくぬ	可	ka	るなんころ			
		一	十一月ヲ	くゑ	可	ka ひつ婦 一 十二月ヲ ちう類徒婦			
		一	此方へよれといふを	遍満	可	ka らい 一 舟ニ乗レトハ ち婦おふ			
飛やう川	け	一	手ぬくいを	せん	可	ka 起			
		一	鉄砲ハ	鉄砲也	一	合掌ハ	お	可	ka む
		一	あの子といふ事	おつ	可	ka ひ 一 ま川寿くとハ ナルおまん			
		一	陸道を	屋ベ	可	ka 類 一 多者こをハ たん者こ			
		一	不知といふ事ハ	いらもし	可	ka れ 一 腹を くい 一 痛事ヲ ある			
		一	飛ぶぎをハ	こ	可	ka しや者 一 こむらをハ う連ベ 一 足ハ て満			
		一	まさ可りを	む	く	ka かり 一 可満ハ よく遍 一 鍬ハ く川く王			
一	可満ハ	よく遍	一	鍬ハ	く川	く	ka		
			一	ゆびハ	て	起	ke		
		一	足袋ヲハ	け	ke	り 一 川をハ 遍川 一 上川と言事ヲハ 遍ないた			
や介り	一	さむいと言事ハ	めいらい	け	ke	連			
			一	としぬ	け	ke と生物 一 川をそハ え志やまん 一 蛇ハ とく尔			
		一	蟬ハ	や起	一	川鳥ハ	可つ	け	ke
一	まな板	右同断	一	包丁ハ	ゑびら	け	ke		
			一	山ノ後ハ	おしま	け	ke 一 可んなべハ いよまれ		
						け	ke 一 山ノ下をハ ゆぶりやうろうほう		



一蛙ハ おま	介	ki	るし	一大蛇ハ あい祢川婦	一見ゝすハ	とに
一骨折ハ い志起	ゝ	ki	なんこ路	一下ニいよとハ	志りか多あ遍	
一休と言事 姦志起	ゝ	ki	なん	一おけといふ事ヲ	ほつ本ウ	
一飛ぎをハ	こ	kka	可しや者	一こむらをハ	う連ベ	一足ハ
一川をそハ え志やまん	一蛇ハ	と	ル			て満
	一むこハ	か	ふゝ	一妻ハ	こしまち	一女房を
一水こひ鳥 なし	一鶯ハ	本	ち			まち
	一人の物を	あんぬん	く	る遍	一何者といふヲ	祢んくう
	一惣而丸キ貝ヲハ	徒ふも	こ	りゝ	一のりハ	お者こ婦
ヲハ 徒ふもこりゝ	一のりハ	お者	こ	婦		
山ノ尾をハ	くう	一山ノ平ハ	こ	とり	一山ノ頭上を	ゆぶりきたい
	一むこハ	かふゝ	こ	しまち	一女房を	まち
	一骨折ハ	い志起	こ	路	一下ニいよとハ	志りか多あ遍
	一女を	めの	こ	一念比人ハ	おもひ	一もゝをハ
	一 徒なぐといふ	志り	ご	て	一物ヲとく事ヲ	飛多
一 星ヲハ	のちう	一 雲ヲハ	く	ろ	一人ヲハ	志やも
事ヲハ	ちし可類	一 念比人ヲハ	く	い	一 我と言事ヲハ	てう可ひ
	一 喰事をハ	あ遍	く	う	一 薪と言事ハ	ちくル
吞事をハ	くう	一 薪と言事ハ	く	ル		
	一 男の子をハ	本	く	年本	ほ	一女の子をハ
もい	一 酒ハ酒なり	一 熊ヲハ	く	ゆく		ま川年本
	一口をハ	者	く	ミち	亦	志やう可い
一なめくぢり	右同断	一 鳥ハ	く	類	一 鶯ハ	やと多
	一 山鳥ハ	婦ミ類い	く	しほ		
		一 鳩ハ	く	しゑとい多	一 蟬ハ	や起
		一 柱ハ	く	寿へ	一 ?ハ	里可尔
ん	一 何ニ而も出ルといふ事ハ	へと	く	ん祢	一夜明多ることいふヲ	志り遍け
	一夜の事	志り	く	り	一 白米ヲ	飛りけり
一 王らをハ	王つてし	一 黒米	く	ん祢		
	色トいふを	連多類ベ	く	う	一 矢を	あい
	一 か川ぎをハ	な者堂類	く	れ者	へ	一 火打ハ
	一 者やくいそけといふヲ	本	く	連といふ		火うち也
ゆびハ	て起	一 乳吞事を	く	るミ	一 弁慶をハ	志やまよん類
	一本うぐ王んとの	お起	く	川く王		
	一 可満ハ	よく遍	く	一 松をハ	婦川婦	一 くりをハ
		一 鍬ハ	ぐ	こ	一 甥ハ	かりこ
		一 姪ハ	こ	こ	一 類共ハ	あ者
一 姪ハ	ま川可りこ	一 甥ハ	こ	こ	一 類共ハ	あ者
屋ベ可類	一 多者こをハ	たん者	こ	ま	一 物の在事ヲハ	あ年ハお可い
	一 物之無キ事ヲハ	い志や	ま	む		
一 松をハ	婦川婦	一 くりをハ	ま	む	連ら	一 東風ハ
	一 西風ハ	志	む	m	一 綱をハ	や
を	志ぶやあん	一 納る事ヲ	む	m		
ヲ	本いつけ	一日の暮を	む	m		
	尔志や多	一 あさ川てヲ	む	m	け	一 昨日を
		一 明後日を	む	m	一 鉄砲ハ	鉄砲也
		一 矢ノ根を	む	m	一 合掌ハ	お可む
一 念比人ハ	おもひ	一 もゝをハ	む	m		
一 紙をハ	可ん飛?	一米	も	m	一 帰る可と言事ハ	へと川ふ
事ヲ	本いつけ	一日の暮を	ん	m		
		一 冬ハ	ま	ma	多	一 めしヲハ
	一 冬ハ	ま多	ま	ma	母	一 飛へヲハ
		一 妻をハ	ま	ma	ちい	一女をハ
をハ	本く年本	ほ	ま	ma	川年本	ほ
おのゝ	一 尔くひといふ事ハ	志と	ま	ma		
一 紙をハ	可ん飛?	一米	ま	ma	も	一 帰る可と言事ハ
		一 檜ノ木ハ	ま	ma	さ	一 婦

としぬけと生物	一川をそハ	え志や	ま	ma	ん	一蛇ハ	とく	ル
	一蛙ハ	お	ま	ma		介るし	一大蛇ハ	あい
ゑびらけ	一可んなべハ	いよ	ま	ma		れ	一見	すハ
	一山ノ後ハ	おし	ま	ma	け	一山ノ下をハ	ゆぶり	やうろう
	一山ノ脇ハ	志や	ま	ma	け	一山ノ平地ハ	てなし	一山ノ奥ハ
一むこハ	かふ	一妻ハ	ま	ma	ち	一女房を	まち	
	一妻ハ	こしまち	ま	ma	ち			
	一姪ハ		ま	ma		川可りこ	一甥ハ	かりこ
	一いけとハ	お	ま	ma	ん	一何ニ而も	出ルといふ事ハ	へとく
の者い	一跡ニ残連といふヲ	ようしお	ま	ma	ん			
	一飛げヲ	連起	ま	ma	け	一舌ヲ	者るう	
	一南風ハ	同連いら	ま	ma	く	那	一静ヲハ	者うけ
	一暁といふヲ	志りおの	ま	ma	ん	一昼前といふヲ	とののしけ	
一明後日	を	志むけ	ま	ma	ん	一一昨日を	本しけのぬまん	
を	ぬまん	一一昨日を	ま	ma	ん			
	一よく行とふヲ	飛る可のお	ま	ma	ん	一よいといふを	飛るか	
ありき	一とこへ行トいふヲ	祢多お	ま	ma	ん			
	一切の道具	外底ヲ	ま	ma		一破れる物を	あん遍	うぶし
	一六月ヲ		ま	ma		うつ	婦	一七月ヲ
おつ可ひ	一ま川	寿くとハ	ま	ma	ん	一八月ヲ	やる	いつふ
との	お起くる	ミ	ま	ma		よん類		
一	き川く	尔く	ま	ma		一御身ト	言事ハ	や
	ルく	ひ事ヲハ	満	ma		一畑をハ	とひ	一田ハ
	本	ろの	満	ma		一田ハ	田	那り
	の	やい	満	ma				少も
	志と	一磯ハ	満	ma				無之也
志やん	一天上へ	上ル事ヲ	満	ma				
志年	志やけ	二十五ヲハ	満	ma		本つ	右是	迄物の
	一此方へ	よれといふを	満	ma		可らい	一舟ニ	乗レトハ
	一こむら	をハ	満	ma				ち婦
	い川	志や	満	ma				おふ
	一?ハ	里可	め	me		いら	い	け
	りか	多者	め	me		尔		
	一高	き	め	me		寿		
	一寒	起を	め	me		らい	け	一あ
	一女	を	め	me		のこ	一念	比人ハ
	一雉	子ハ	ミ	mi		類い	一鳩ハ	く
	一本	うぐ	ミ	mi		一弁	慶をハ	志
	一衣	類を	め	mi		婦	一	お
雲ヲハ	尔しく	ろ	も	mo				い
志ん	志起る	う	も	mo		ん	る	う
	一物	而丸	も	mo		こ	り	一
	之	一蚊	も	mo		寿	一	蜂ハ
	一粟	ヲハ	む	mu		じ	路	一
	一王	ら	む	mu		り	くり	一
	て	出	む	mu		尔	ん	
	一	まさ	む	mu		く	かり	一
ゑ可	一殿	といふ	も	mu		いと	の	
	一将	軍様	も	mu		ひ	一	禁
の可	一禁	中様	も	mu		ひ		
ハ	一神	ヲハ	も	mu		ひ	一	侍
	一海	ノ	も	mu		い	一	山
	鹿	ヲハ	も	mu		い	一	酒
	一	不知	も	mu		し	可	れ
	一	脇	む	mui		し	一	や
つニ	一	あ	ぬ	n		遍		
	一	王	ん	n		一	死	寿
ん	一	道	ん	n		る	う	
ほ	一	道	ん	n				
	一	将	ん	n		の	可	も

ハ	ぼんの可もひ	一 禁中様ヲハ	ぼ	ん	n	ゝの可もひ	
	一う連しいと言事ハ	きろゝあ	ん	ん	n	一肴ト言事ハ	せ川婦
		一紙をハ	可	ん	n	飛?	一米 ちい志やまも 一帰る可と言事ハ
亦	志やう可い	一骨折と言事ハ	志	ん	n	き	へと川ふ
	断	一鮎ヲハ	む	ん	n	遍?	
	一生子ハ	うた	一う久ひハ	志ぶ	ん	ん	一蟹ハ
	一う久ひハ	志ぶん	一蟹ハ	あ	ん	n	あんはや
		一杉の木をハ	志ゆ	ん	n	者や	
しぬけと生物	一川をそハ	え志やま	ん	ん	n	ぐ	一松をハ 婦川婦 一くりをハ
	一蟬ハ	や起	一川鳥ハ	可つけ	ん	n	一蛇ハ
	一丈夫ハ	く多り	一父ハ	者	ん	n	遍
		一骨折ハ	い志起	な	ん	n	一母ハ 者本う
		一いけとハ	おま	ん	n	n	こ路 一下ニいよとハ
		一山ヨリ下ルを	志や	ん	n	n	一何ニ而も出ルといふ事ハ
			亦ら	ん	n	n	一天上へ上ル事ヲ
		一休と言事	ゑ志起	な	ん	n	里起多あ満
者い	一跡ニ残連といふヲ	ようしおま	ん	ん	n	n	一おけといふ事ヲ
		一沖ニ在嶋を	連婦多	ん	n	n	ほつ本う
連婦多	一是悲ないといふを	ゑち連	ん	ん	n	n	嶋の本
	一介むり立を	志ぶやあ	ん	ん	n	n	一石をハ
		一夜の事	志りく	ん	n	n	ま多嶋と言
		一晝といふヲ	志りおのま	ん	n	n	可ひ
		一今日を	た	ん	n	n	一納る事ヲ
一明後日を	志むけ	一昨日を	ぬま	ん	n	n	ゑ志やむ
	ぬまん	一昨日を	本しけのぬま	ん	n	n	一綱をハ
		一よく行とふヲ	飛る可のおま	ん	n	n	や
		一こ連てもといふヲ	た	ん	n	n	祢
		七つニハ	あるあ	ん	n	n	一昼前といふヲ
ニハ	あるあん遍	八つニハ	徒遍	さ	ん	n	とののしけ
ハ	徒遍	さん遍	九つニハ	志年遍	さん遍	n	ど
			十二ハ	王	ん	n	明日を
			王	ん	n	n	一あさ川てヲ
			同百ハ	あしき年本つ	千ハ	王	一昨日を
			りき	一とこへ行といふヲ	祢多おま	ん	本しけのぬまん
			あんぬんくる遍	一何者といふヲ	祢	ん	一よいといふを
ふヲてう可ひ	一爰へ来ルといふヲ	多	ん	n	n	n	飛
う可ひ	一爰へ来ルといふヲ	多	ん	n	n	n	遍
		一天をハ	里起多	ん	n	n	遍
同道シ而合せんといふ	徒らハ	ゑくぬ可るな	ん	n	n	n	遍
	曲多るを	へうけ	一少トいふを	本	ん	n	遍
	色トいふを	連多類ベ	黒トいふを	く	ん	n	遍
			一青キ事ヲ	志う年	ん	n	遍
			を	飛やう川	ゝけ	一	遍
			おつ可ひ	一ま川寿くとハ	ナルおま	ん	遍
			陸道を	屋ベ可類	一多者こをハ	た	遍
			スを	ち起志や	ゝ	一本くちハ	遍
			本くちハ	かる志	一錢をハ	いちゑ	遍
			起らしの	一よ王川多可といふヲ	志	ん	遍
			お起くるミ	一弁慶をハ	志やまよ	ん	遍
をハ	遍川	一上川と言事ヲハ	遍	な	na	いた	遍
			ノ脇ハ	志やまけ	一山ノ平地ハ	て	遍
			ハ	かつむいり	一者や起事ハ	徒い	遍
			をハ	右同断	一御太儀ト言を	うち	遍
				一骨折ハ	い志起	な	遍
こ路	一くゝ里付多といふことを	志	な	na	ゝ	ん	遍
	いふ事	おつ可ひ	一ま川寿くとハ	ナ	na	尔おまん	遍
一鼻を	ゑ川婦	一く志やミを	ゑし	な	na	一耳をき志やら	遍



	一 女を	め	の	no	こ	一念比人ハ	おもひ	一もゝをハ	おむ
	一 中道と言事ヲハ	志	ん	no	志起るう	一 左道と言事ヲハ	志もんるう		
		一 いろいろハ	い	ぬ	ぬ	へ	一 火者シハ	あ遍 <sup>ゞ</sup> 者シ	
	一 明後日を	志むけ	一 昨日を	ぬ	nu	まん	一 一昨日を	本しけのぬまん	
日	ぬまん	一 一昨日を	本しけ	ぬ	nu	まん			
		一 神ヲハ	志いの	の	nu	本り可もひ	一 侍と言事ヲハ	尔し者	
	一 坊主をハ	遍そり	一 山ノ神をハ	の	nu	本 <sup>ゞ</sup> 類可もい	一 山ヲハ		
	ふ事を	飛 <sup>る</sup> か	一 山へ上ルをハ	の	nu	本り遍めれ	寿おりた		
昨日	ぬまん	一 一昨日を	本しけ	の	nu	ぬまん			
	いらま可し尔	一 浦山敷を	あい	の	nu	者 <sup>ゞ</sup>			
	一 達者といふ	お起らし	の	nu	一 一よ王川多可といふヲ	志んぎ			
	尔	一 猿ハ一匹も無シ	一本うゐ	ん	nu	と獣物猫このことし			
		一人の物を	あ	ん	nu	ぬんくる遍 <sup>ゞ</sup>	一 一何者といふヲ	祢んくう	
		一人の物を	あんぬ	ん	nu	くる遍 <sup>ゞ</sup>	一 一何者といふヲ	祢んくう	
	言うをハ	右同断	一 御太儀ト言を	う	o	ちな可連			
	本起の者い	一 一跡ニ残連といふヲよ	あ志やま	う	o	しおまん			
		一 破れる物を	あん遍 <sup>ゞ</sup>	う	o	ぶし			
い	志やま	一 物の在事ヲハ	あ年ハ	お	o	可い			
ヲハ	者 <sup>ゞ</sup> 那い多	一 川の深事ヲハ	あ	o	o	本			
		一 同浅キと言事ヲハ	あ	o	o	者く	一 右道と言事ヲハ	者るきるう	
	一 湯をハ	せゝ可	一 汁をハ	お	o	者	一 塩をハ	尔し□	
本	一 粥をハ	うせ	一 行事ハ	お	o	ま□			
		一 むごひといふ事をハ	あ	o	o	のゝ	一 一尔くひとといふ事をハ	志とま	
	キ目ヲハ	徒ふもこりゝ	一 のりハ	お	o	者こ婦 <sup>ゞ</sup>			
一	海草ハ何ニても	てむ尔	一 濱ハ	お	o	多	一 一砂をハ右		
		一 蛙ハ	あ	o	o	ま介るし	一 一 大蛇ハ	あい祢川婦	
		一 山ノ後ハ	あ	o	o	しまけ	一 一 山ノ下をハ	ゆぶりやうろうほう	
		一 いけとハ	あ	o	o	まん	一 一 何ニ而も出ルといふ事ハ	へとく	
起	の者い	一 一跡ニ残連といふヲようし	あ	o	o	まん			
	な寿事ヲ	志ゆら	一 一物ヲ追といふ	お	o	け遍 <sup>ゞ</sup>			
		一 一曉といふヲ	志り	お	o	のまん	一 一 昼前といふヲ	とののしけ	
	明日を	尔志や多	一 一あさ川てヲ	お	o	や志ゆむ			
		一 一既ニ言事ヲ	あ	o	o	志やうら	一 一 一よふ来多といふヲ	飛る可	
		一 一皆此方へよれといふヲ	あ	o	o	ふび多の志やた	お可ひ		
皆	此方へよれといふヲ	おふび多の志やた	あ	o	o	可ひ			
		一 一よく行とふヲ	飛る可の	お	o	まん	一 一 一よいといふを	飛 <sup>る</sup> か	
王	ありき	一 一とこへ行トいふヲ	祢多	お	o	まん			
		一 一御前様トいふを	ゑち	お	o	可ひ	一 一 一うぬとハ	や尔	
		一 一一切ノ物の内ニ在をハ	ら婦 <sup>ゞ</sup> 多	お	o	可ひ			
		一 一舟のともをハ	ちつ婦	お	o	志よろ	一 一 一舟ノ中を	ちつふのしけた	
遍	満可らい	一 一舟ニ乗レトハ	ち婦 <sup>ゞ</sup>	お	o	ふ			
		一 一鉄砲ハ	鉄砲也	お	o	可む			
		一 一よろこびを	あ	o	o	のふゝ	一 一 一なけくを	お志よら	
	よろこびを	おのふゝ	一 一なけくを	お	o	志よら	一 一 一念比成近付を		
		一 一あの子といふ事	あ	o	o	つ可ひ	一 一 一ま川寿くとハ	ナルおまん	
事	おつ可ひ	一 一ま川寿くとハ	ナル	お	o	まん			
		一 一達者といふ	あ	o	o	起らしの	一 一 一よ王川多可といふヲ	志んぎ	
		一 一志りをハ	あ	o	o	そろ	一 一 一玉く起ハ	ち	
	一 女を	めのこ	一 一念比人ハ	お	o	もひ	一 一 一もゝをハ	おむ	
	一念比人ハ	おもひ	一 一もゝをハ	お	o	む			
		一 一本うぐ玉んとの	あ	o	o	起くるミ	一 一 一弁慶をハ	志やまよん類	
		一 一庄屋をハ	あ	o	o	とな	一 一 一な多ハ	者満な多	
	一 脇差ハ	ゑむし	一 一やりハ	お	o	つ婦	一 一 一大豆ハ大豆也		
		一 一物の尔へ類といふハ	本	う	p	婦	一 一 一な満尔へな類事ハ	婦	
起	をハ	めらいけ	一 一あつ起をハ	本	う	婦け			
	ゑ志起 <sup>ゞ</sup> なん	一 一おけといふ事ヲ	ほ	つ	p	本う			
		一 一昼をハ	とうか	つ	p	ふ	一 一 一昼過をハ	とうかつ本け連	

ハ	とうかつふ	一昼過をハ	とうか	つ	p	ふ本け連	
墨ハ	者川し	一舟のおもてハ	ち	つ	p	ふな	
		一舟のともをハ	ち	つ	p	婦お志よろ 一舟ノ中を ちつふのしけた	
ハ	ちつ婦お志よろ	一舟ノ中を	ち	つ	p	ふのしけた	
	一脇差ハ	ゑむし	一やりハ	お	p	婦 一大豆ハ大豆也	
		一 塩をハ	志	川	p	本 一粥をハ うせ 一 行事ハ おま□	
	一あ多	可と言事ヲハ	ほ	川	p	婦 一痛ト言事ヲハ い多しヤ(ゝ)	
言事ハ	きろ	ゝあん	一肴ト言事ハ	せ	川	p	婦
ちい志やまも	一帰る可と言事ハ	へと	川	p	ふ		
杉の木をハ	志ゆんぐ	一松をハ	婦	川	p	婦 一くりをハ やむ	
	一舟の帆を	可や	一帆柱	ち	川	p	婦可や尔 一繩を 者りき可
	一可満ハ	よく遍	一鍬ハ	く	川	p	く王
		但雨降る杯ハ	あ	ふ	p	ど免しと言	
い志やまも	一帰る可と言事ハ	へと	川	ふ	p		
本寿事ヲ	本いつけ	一日の暮を	徒	ふ	p	らんむ	
	一昼をハ	とうかつ	ふ	ふ	p	一昼過をハ とうかつふ本け連	
	とうかつふ	一昼過をハ	とうかつ	ふ	p	本け連	
	一皆此方へよれといふヲ	お	ふ	p	び多の志やたお可ひ		
	一 志年	婦	四ツニハ	い年婦	五ツニハ	あし起年	ふ
婦	四ツニハ	い年婦	五ツニハ	あし起年	ふ	p	六ツニハ い者ぬ遍
	ハ	者川し	一舟のおもてハ	ちつ	ふ	p	な
		ちつ婦お志よろ	一舟ノ中を	ちつ	ふ	p	のしけた
	一 火ヲハ	あ遍	一 あめヲハ	あ	ぶ	p	と
	風ヲハ	連いら	一 日月ヲハ	徒	ゝ	婦	p
	一 海ヲハ	あ川い	一 舟をハ	ちつ	婦	p	
	ハ	うしおい	一 その物と言事ヲハ	婦	p		
	一 衣類をハ	ちめ	婦	p	一 お川とゝいふ事をハ ほか		
	一あ多	可と言事ヲハ	ほ	川	p	一痛ト言事ヲハ い多しヤ(ゝ)	
事ハ	きろ	ゝあん	一肴ト言事ハ	せ	川	p	
ハ	徒ふもこり	ゝ	一のりハ	お者	こ	婦	p
の木をハ	志ゆんぐ	一松をハ	婦	川	p	一くりをハ やむ	
	一桑ノ木をハ	く	連	婦	p	尔 一梨の木ハ 右同断 一柿ハ右同断 一本も無之	
り	右同断	一志やくしをハ	可せう	婦	p	一飛さくハ 婦起な	
	一物の尔へ類といふハ	本う	婦	p	一な満尔へな類事ハ 婦		
をハ	めらいけ	一あつ起をハ	本う	婦	p	け	
	一冲をハ	連	婦	p	多 一是悲ないといふを ゑち連ん可ひ		
	三ツニハ	連	婦	p	四ツニハ い年婦 五ツニハ あし起年ふ 六ツニハ い者ぬ遍		
	三ツニハ	連婦	四ツニハ	い年	婦	p	五ツニハ あし起年ふ 六ツニハ い者ぬ遍
	一舟のともをハ	ちつ	婦	p	お志よろ 一舟ノ中を ちつふのしけた		
	一舟の帆を	可や	一帆柱	ち	川	p	可や尔 一繩を 者りき可
を	遍満可らい	一舟ニ乗レトハ	ち	婦	p	おふ	
	一汗の出を	本	婦	p	らい 一に志んをハ てろき 一物ノ多有事を 遍ろ		
	一脇差ハ	ゑむし	一やりハ	お	つ	p	一大豆ハ大豆也
	徒ふもこり	ゝ	一のりハ	お者	こ	婦	p
	遍満可らい	一舟ニ乗レトハ	ち	婦	p	おふ	
一	風ヲハ	連いら	一 日月ヲハ	徒	ゝ	p	婦
	起なん	一おけといふ事ヲ	ほ	つ	本	う	pa
	一春ハ	者	pa	い可類 一夏ハ さく 一秋ハ徒可くふ			
一めしヲハ	あま母	一飛ヘヲハ	飛	や	者	pa	
	一 雪ヲハ	お	者	pa	せ 一 風ヲハ 連いら 一 日月ヲハ 徒ゝ婦		
	一 下川と言事ヲハ	者	pa	那い多 一 川の深事ヲハ お本			
の本り可もひ	一 侍と言事ヲハ	尔	し	者	pa		
	一口をハ	者	pa	ろ 一 貴キ事ハ くミち 亦 志やう可い 一骨折と言事ハ 志ん			
	一あ多満ハ	志	や	者	pa	一飛多いハ のい本ろ 一口ノ内ニ而物のとける事ヲハ るう	

ハ とふへ 一口ノからいと言事ハ	者	pa	類可流
一う久ひハ 志ぶん 一蟹ハ あん	者	pa	や
一なめくぢり 右同断 一鳥ハ	者	pa	すく類 一鷲ハ やと多
一家をハ ちせ 一鷲ハ か	者	pa	ちり 一熊鷹 あち
一戸をハ あ	者	pa	一何ニ而も長キ物ハ 志をふ 茶ハ茶也
一者しハ	者	pa	す 一なべ 志う 一釜 右同断
ろりハ いぬへ 一火者しハ あ遍	者	pa	し
一甥ハ かりこ 一一類共ハ あ	者	pa	
一先ゆけと言ヲ 本起の	者	pa	い 一跡ニ残連といふヲようしおまん
起 一齒ヲハ みまけ 一舌ヲ	者	pa	るう
らま可し尔 一浦山敷を あいの	者	pa	
一筆も 同前 一墨ハ	者	pa	川し 一舟のおもてハ ちつふな
道を 屋ベ可類 一多者こをハ たん	者	pa	こ
一者やくいそけといふヲ 本くれ	者	pa	へ 一火打ハ 火うち也
一飛ぶぎをハ こ可しや	者	pa	一こむらをハ う連ベ 一足ハ て満
又にし	者	pa	とも言
志起 <sup>な</sup> ん 一おけといふ事ヲ ほつ	本	pa	う
一口をハ 者		pa	ろう 一貴キ事ハ くミち 亦 志やう可い 一骨折と言
			事ハ 志んき
一あ多満ハ 志や者		pa	一飛多いハ のい本ろ 一口ノ内ニ而物のとける事ヲハ
			るう
一家をハ ちせ 一鷲ハ か者		pa	ちり 一熊鷹 あち
一戸をハ あ者		pa	一何ニ而も長キ物ハ 志をふ 茶ハ茶也
一者しハ 者		pa	す 一なべ 志う 一釜 右同断
一甥ハ かりこ 一一類共ハ あ者		pa	
ま可し尔 一浦山敷を あいの者		pa	
一筆も 同前 一墨ハ 者		pa	川し 一舟のおもてハ ちつふな
を 屋ベ可類 一多者こをハ たん者		pa	こ
一者やくいそけといふヲ 本くれ者		pa	へ 一火打ハ 火うち也
一飛ぶぎをハ こ可しや者		pa	一こむらをハ う連ベ 一足ハ て満
めしヲハ あま母 一飛ヘヲハ 飛や者		pa	
一雪ヲハ お者		pa	せ 一風ヲハ 連いら 一日月ヲハ 徒ノ婦
一 下川と言事ヲハ 者		pa	那い多 一川の深事ヲハ お本
一あ満いト言事ハ とふ	へ	pe	一口ノからいと言事ハ は類可流
一柱ハ ゆく寿	へ	pe	一?ハ 里可尔 一者りハ いてめ尔
一いろりハ いぬ	へ	pe	一火者しハ あ遍 <sup>者</sup> し
ま多	へ	pe	てとく
あ遍 <sup>あり</sup> 一可つ堂ノくをハ あ	へ	pe	れん本う
多ちり 一雁ハ くいとう 一鴨ハ こ	べ	pe	志
一 火薪と云事をハ あ	べ	pe	あ連 一水をハ 王川可
一 鮭の魚ヲハ 志	べ	pe	鱒ノ魚をハ いじ屋耳
飛び可 一大波立るあらいをハ るや	べ	pe	本
一万ノ物誰可物といふを 祢んこる	べ	pe	一物をと可め類事ヲ 年んノ
一色トいふを 連多類	べ	pe	黒トいふを くん祢
一陸道を 屋	べ	pe	可類 一多者こをハ たん者 <sup>こ</sup>
こ可しや者 <sup>一</sup> 一こむらをハ う連	べ	pe	一足ハ て満
一 粟ヲハ むじ路 一火ヲハ あ	遍	pe	一 あめヲハ あぶと
一 足袋ヲハ けり 一川をハ	遍	pe	川 一上川と言事ヲハ 遍 <sup>ないた</sup>
川をハ 遍川 一上川と言事ヲハ	遍	pe	ないた
一鹿ヲハ ゆつく 一水神ヲハ	遍	pe	川可もひ 一久敷ト言事ハ な可らてい
一 鮎ヲハ む 一鯨をハ くん	遍	pe	?
一いろりハ いぬへ 一火者しハ あ	遍	pe	者し
一丈夫ハ く多り 一父ハ 者ん	遍	pe	一母ハ 者本う
一火のもゆるをハ あ	遍	pe	あり 一可つ堂ノくをハ あへれん本う
主といふハ ぬち 一小袖ハ 志やら	遍	pe	一頭ノ髪 いもくふ
くん祢 一夜明多ることいふヲ 志り	遍	pe	け
一こ連てもといふヲ たん	遍	pe	祢 可い起飛るか 一物ヲ法を

五つニハ	あし起年ふ	六つニハ	い者ぬ	遍	pe	〃	
		七つニハ	あるあん	遍	pe	〃 八つニハ 徒遍さん遍 九つニハ 志年遍さん遍	
	七つニハ あるあん遍	八つニハ	徒	遍	pe	〃さん遍 九つニハ 志年遍さん遍	
	ニハ あるあん遍	八つニハ	徒遍さん	遍	pe	〃 九つニハ 志年遍さん遍	
	八つニハ 徒遍さん遍	九つニハ	志年	遍	pe	〃さん遍	
	徒遍さん遍	九つニハ	志年遍さん	遍	pe	〃	
		十二ハ	王ん	遍	pe	〃 二十ハ 本つ 三十ハ 王ん遍本つ 四十ニハ 徒本	
						川	
ハ	王ん遍	二十ハ	本つ	三十ハ	王ん	遍 pe 〃本つ 四十ニハ 徒本川	
言葉同前	百ハ	あしき年本つ	千ハ	王ん	遍	pe 〃志年まな本つ	
	さ可りを	むくかり	一可満ハ	よく	遍	pe 〃一 鍬ハ く川く王	
	川をハ	遍川	一 上川と言事ヲハ	遍	pe	〃 ないた	
	いろりハ	いぬへ	一火者しハ	あ遍	pe	〃 者し	
	一丈夫ハ	く多り	一父ハ	者ん遍	pe	〃 一母ハ 者本う	
		一火のもゆるをハ	あ遍	pe	〃 あり 一可つ堂くをハ あへれん本う		
五つニハ	あし起年ふ	六つニハ	い者ぬ	遍	pe	〃	
		七つニハ	あるあん遍	pe	〃	八つニハ 徒遍さん遍 九つニハ 志年遍さん遍	
		七つニハ	あるあん遍	pe	〃	さん遍 九つニハ 志年遍さん遍	
	ハ	あるあん遍	八つニハ	徒遍	pe	〃 九つニハ 志年遍さん遍	
	つニハ	徒遍さん遍	九つニハ	志年遍	pe	〃さん遍	
	徒遍さん遍	九つニハ	志年遍さん遍	pe	〃		
		十二ハ	王ん遍	pe	〃	二十ハ 本つ 三十ハ 王ん遍本つ 四十ニハ 徒本川	
	王ん遍	二十ハ	本つ	三十ハ	王ん遍	pe 〃本つ 四十ニハ 徒本川	
葉同前	百ハ	あしき年本つ	千ハ	王ん遍	pe	〃志年まな本つ	
	ヲ	あ志やま	一破れる物を	あん遍	pe	〃 うぶし	
		一人の物を	あんぬんくる遍	pe	〃	一何者といふヲ 祢んくう	
	可りを	むくかり	一可満ハ	よく遍	pe	〃 一 鍬ハ く川く王	
	一 粟ヲハ	むじ路	一 火ヲハ	あ遍	pe	〃 一 あめヲハ あぶと	
	一 鹿ヲハ	ゆつく	一 水神ヲハ	遍	pe	〃 川可もひ 一久敷ト言事ハ な可らてい	
			一 燕ハ	ち	pi	〃 屋川 一 可もめハ 可ひこ	
	一 皆此方へ	よれといふヲ	おふ	び	pi	〃 多の志やたお可ひ	
	一めしヲハ	あま母	一 飛へヲハ	飛	pi	〃 や者	
			一 紙をハ	可ん	飛	pi	〃 ? 一米 ちい志やまも 一 帰る可と言事ハ へと川ふ
	一 海上な	起多るをハ	のと	飛	pi	〃 り可 一大波立るあらいをハ るやべ本	
	一 天氣能をハ	志り	飛	飛	pi	〃 類可 一天をハ 志り 一何ニ而も	
		能可といふ事を	飛	pi	〃	るか 一山へ上ルをハ の本り遍めれ寿おりた	
	トいふ	志りごて	一物ヲとく事ヲ	飛	pi	〃 多	
	お志やうら	一よふ来多といふヲ	飛	pi	〃	る可	
		一よく行とふヲ	飛	pi	〃	る可のおまん 一よいといふを 飛るか	
		飛る可のおまん	一よいといふを	飛	pi	〃 るか	
一	こ連てもといふヲ	たん遍祢	可い起	飛	pi	〃 るか 一物ヲ法を	
	一 黒米	むりくり	一 白米ヲ	飛	pi	〃 りけり	
		能可といふ事を	飛	pe	〃	るか 一山へ上ルをハ の本り遍めれ寿おりた	
	いふ	志りごて	一物ヲとく事ヲ	飛	pi	〃 多	
	飛る可のおまん	一よいといふを	飛	pe	〃	るか	
	一 黒米	むりくり	一 白米ヲ	飛	pi	〃 りけり	
	たこをハ	あ川い那	一 鮑ヲハ	あい飛	pe	〃 一 稲ヲハ せ	
		一 道廣キと言事ヲハ	ほ	po	〃	ろ 一 道寿く那支と言事ヲハ ほん	
	ハ	ほろ	一 道寿く那支と言事ヲハ	ほ	po	〃 ん	
		一 あ多く可と言事ヲハ	ほ	po	〃	川婦 一 痛ト言事ヲハ い多しや(ゝ)	
	まけ	一 山ノ下をハ	ゆぶりやうろう	ほ	po	〃 う	
		一 九月ヲ	う連	ほ	po	〃 けつ婦 一 十月ヲ 志ゆなん徒婦	
		一 將軍様ヲハ	ぼ	po	〃	んの可もひ 一 禁中様ヲハ ぼんゝの可もひ	
	ヲハ	ぼんの可もひ	一 禁中様ヲハ	ぼ	po	〃 んゝの可もひ	
		一 塩をハ	志川	本	po	〃 一 粥をハ うせ 一 行事ハ おま□	
	一 女をハ	本川祢	一 子共ヲハ	本	po	〃 ぼ	
		一 男の子をハ	本く年	本	po	〃 ぼ 一 女の子をハ ま川年本ぼ	

本く年本	ほ	一	女の子をハ	ま川年	本	po	ほ	
		一	き川く	ルく	本	po	ろの	やい志と満
あ多満ハ	志	や者	飛多	いハ	本	po	ろ	一口ノ内ニ而物のとける事ヲハ
		一	父ハ	者ん遍	本	po	う	
			一	母ハ	本	po	う	婦
				者	本	po	う	婦
				一	本	po	う	婦
あり	一	可	つ堂	くをハ	本	po	う	婦
				一	本	po	う	婦
				火ヲ	本	po	う	婦
寒起をハ	め	ら	いけ	一	本	po	う	婦
				あ	本	po	う	婦
				つ	本	po	う	婦
				起	本	po	う	婦
				をハ	本	po	う	婦
				誰	本	po	う	婦
				子	本	po	う	婦
				ト	本	po	う	婦
				い	本	po	う	婦
				ふ	本	po	う	婦
				ヲ	本	po	う	婦
				祢	本	po	う	婦
ル本	ほ	一	御身	可	本	po	う	婦
			子	ト	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			ヲ	や	本	po	う	婦
			ル	本	po	う	婦	
			の	曲	本	po	う	婦
			多	る	本	po	う	婦
			を	へ	本	po	う	婦
			う	け	本	po	う	婦
			一	少	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			汗	の	本	po	う	婦
			出	を	本	po	う	婦
			一	兄	本	po	う	婦
			を	ゆ	本	po	う	婦
			ふ	本	po	う	婦	
			ろ	一	本	po	う	婦
			玉	く	本	po	う	婦
			起	ハ	本	po	う	婦
			ち	一	本	po	う	婦
			玉	門	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			誰	子	本	po	う	婦
			ト	い	本	po	う	婦
			ふ	ヲ	本	po	う	婦
			祢	ル	本	po	う	婦
本	ほ	一	御身	可	本	po	う	婦
			子	ト	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			ヲ	や	本	po	う	婦
			ル	本	po	う	婦	
			の	曲	本	po	う	婦
			多	る	本	po	う	婦
			を	へ	本	po	う	婦
			う	け	本	po	う	婦
			一	少	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			汗	の	本	po	う	婦
			出	を	本	po	う	婦
			一	兄	本	po	う	婦
			を	ゆ	本	po	う	婦
			ふ	本	po	う	婦	
			ろ	一	本	po	う	婦
			玉	く	本	po	う	婦
			起	ハ	本	po	う	婦
			ち	一	本	po	う	婦
			玉	門	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			誰	子	本	po	う	婦
			ト	い	本	po	う	婦
			ふ	ヲ	本	po	う	婦
			祢	ル	本	po	う	婦
本	ほ	一	御身	可	本	po	う	婦
			子	ト	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			ヲ	や	本	po	う	婦
			ル	本	po	う	婦	
			の	曲	本	po	う	婦
			多	る	本	po	う	婦
			を	へ	本	po	う	婦
			う	け	本	po	う	婦
			一	少	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			汗	の	本	po	う	婦
			出	を	本	po	う	婦
			一	兄	本	po	う	婦
			を	ゆ	本	po	う	婦
			ふ	本	po	う	婦	
			ろ	一	本	po	う	婦
			玉	く	本	po	う	婦
			起	ハ	本	po	う	婦
			ち	一	本	po	う	婦
			玉	門	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			誰	子	本	po	う	婦
			ト	い	本	po	う	婦
			ふ	ヲ	本	po	う	婦
			祢	ル	本	po	う	婦
本	ほ	一	御身	可	本	po	う	婦
			子	ト	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			ヲ	や	本	po	う	婦
			ル	本	po	う	婦	
			の	曲	本	po	う	婦
			多	る	本	po	う	婦
			を	へ	本	po	う	婦
			う	け	本	po	う	婦
			一	少	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			汗	の	本	po	う	婦
			出	を	本	po	う	婦
			一	兄	本	po	う	婦
			を	ゆ	本	po	う	婦
			ふ	本	po	う	婦	
			ろ	一	本	po	う	婦
			玉	く	本	po	う	婦
			起	ハ	本	po	う	婦
			ち	一	本	po	う	婦
			玉	門	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			誰	子	本	po	う	婦
			ト	い	本	po	う	婦
			ふ	ヲ	本	po	う	婦
			祢	ル	本	po	う	婦
本	ほ	一	御身	可	本	po	う	婦
			子	ト	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			ヲ	や	本	po	う	婦
			ル	本	po	う	婦	
			の	曲	本	po	う	婦
			多	る	本	po	う	婦
			を	へ	本	po	う	婦
			う	け	本	po	う	婦
			一	少	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			汗	の	本	po	う	婦
			出	を	本	po	う	婦
			一	兄	本	po	う	婦
			を	ゆ	本	po	う	婦
			ふ	本	po	う	婦	
			ろ	一	本	po	う	婦
			玉	く	本	po	う	婦
			起	ハ	本	po	う	婦
			ち	一	本	po	う	婦
			玉	門	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			誰	子	本	po	う	婦
			ト	い	本	po	う	婦
			ふ	ヲ	本	po	う	婦
			祢	ル	本	po	う	婦
本	ほ	一	御身	可	本	po	う	婦
			子	ト	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			ヲ	や	本	po	う	婦
			ル	本	po	う	婦	
			の	曲	本	po	う	婦
			多	る	本	po	う	婦
			を	へ	本	po	う	婦
			う	け	本	po	う	婦
			一	少	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			汗	の	本	po	う	婦
			出	を	本	po	う	婦
			一	兄	本	po	う	婦
			を	ゆ	本	po	う	婦
			ふ	本	po	う	婦	
			ろ	一	本	po	う	婦
			玉	く	本	po	う	婦
			起	ハ	本	po	う	婦
			ち	一	本	po	う	婦
			玉	門	本	po	う	婦
			を	一	本	po	う	婦
			誰	子	本	po	う	婦
			ト	い	本	po	う	婦
			ふ	ヲ	本	po	う	婦
			祢	ル	本	po	う	婦
本	ほ	一	御身	可	本	po	う	婦
			子	ト	本	po	う	婦
			い	ふ	本	po	う	婦
			ヲ	や	本	po	う	婦
			ル	本	po	う	婦	
			の	曲	本	po	う	婦
			多	る	本	po	う	婦
			を	へ	本	po	う	婦

お志やうら	一よふ来多といふヲ	飛	る	r	可	
	一よく行とふヲ	飛	る	r	可のおまん	
	一よいといふを	飛	る	r	飛るか	
こ連てもといふヲ	たん遍 <sup>レ</sup> 祢	可い起飛	る	r	か 一物ヲ法を	
	一人の物を	あんぬんく	る	r	遍 <sup>レ</sup> 一何者といふヲ 祢んくう	
	一万ノ物誰可物といふを	祢んこ	る	r	べ 一物をと可め類事ヲ 年んゝ	
人を同道シ而合せんといふ	徒らハ	ゑくぬ可	る	r	なんころ	
	一木の耳の本くちハ	か	る	r	志 一錢をハ いちゑん	
	一金ハ	カル	一銀ハ	連多	る	r
	れ	一腹を	くい	一痛事ヲ	あ	る
	一本うぐ	王んとの	お起	く	る	r
ふへ	一口ノからいと	言事ハ	者類可	流	r	
	一春ハ	者い可	類	r	一夏ハ さく 一秋ハ徒可 <sup>レ</sup> くふ	
	一なく事ヲ	ちし可	類	r	一 念比人ヲハ とくい 一 我と言事ヲハ てう可ひ	
とふへ	一口ノからいと	言事ハ	者	類	r	
なめくちり	右同断	一鳥ハ	者すく	類	r	
一山ノ尾をハ	くう	一山ノ平ハ	う	類	r	
べるヲ	連ん本う	一腹痛ヲ	徒いあ	類	r	
	一天氣能をハ	志り飛	類	r	可 一天をハ 志り 一何ニ而も	
	一色ト	いふを	連多	類	r	
	一舟ノと	満ハ	や	れ	r	
星ヲハ	のちう	一雲ヲハ	尔しく	ろ	r	
雪ヲハ	お者 <sup>レ</sup> せ	一風ヲハ	連い	ら	ra	
ヲハ	うゑん	一死寿類と言事ヲハ	ら	ra	い	
川志や介り	一さむいと	言事ハ	めい	ら	ra	
遍 <sup>レ</sup> 川可もひ	一久敷ト	言事ハ	な可	ら	ra	
	一あ婦 <sup>レ</sup> ハ	志	ら	ra	う 一婦よう 少もなし 一うなかふし ゑ可ふ年	
	一寒起をハ	め	ら	ra	いけ 一あつ起をハ 本う婦け	
一主といふハ	ゑち	一小袖ハ	志や	ら	ra	
	一者な	寿事ヲ	志ゆ	ら	ra	
	一西風ハ	志む連	ら	ra	遍 一頭ノ髪 いもくふ	
	一南風ハ	同連い	ら	ra	一物ヲ追といふ おけ遍 <sup>レ</sup>	
寿事ヲ	本いつけ	一日の暮を	徒ふ	ら	ra	
	一既ニ	言事ヲ	お志やう	ら	ra	
	ら	婦 <sup>レ</sup> 多	一一切ノ物の内ニ在をハ	ら	ra	
	ら	婦 <sup>レ</sup> 多	お可ひ	ら	ra	
る	一人を同道シ而合せんといふ	徒	ら	ra	ハゑくぬ可るなんころ	
	一此方へよれといふを	遍満可	ら	ra	い 一舟ニ乗レトハ ち婦 <sup>レ</sup> おふ	
びを	おのふゝ	一なけくを	お志よ	ら	ra	
	一達者といふ	お起	ら	ra	一 念比成近付を	
	一不知といふ事ハ	い	ら	ra	しの 一よ王川多可といふヲ 志んぎ	
一く志やミを	ゑしな	一耳を	き志や	ら	ra	
	一鶴ハ	遍	re		多ちり 一雁ハ くいとう 一鴨ハ こべ志	
	一き多ひと	言事ヲハ	い川志や介 <sup>レ</sup>	り	re	
	一おそ起事ハ	かつむい	り	re	一さむいと	
	一泊るといふ事ハ	連う志	り	re	言事ハ めいらいけ連	
	一火のもゆるをハ	あ遍 <sup>レ</sup> あ	り	re	一者や起事ハ 徒いなし	
ゑびらけ	一可んな	べハ	いよま	れ	re	
	一屋く	はん	右同断	一御な	べ	
	あ遍 <sup>レ</sup> あり	一可つ堂	ゝくをハ	あへ	れ	
	一者やくい	そけといふヲ	本く	れ	re	
	一雪ヲハ	お者 <sup>レ</sup> せ	一風ヲハ	連	re	
	一火薪と	云事をハ	あべあ	連	re	
介り	一さむいと	言事ハ	めいらいけ	連	re	
	一桑ノ木をハ	く	連	re	婦 <sup>レ</sup> 尔 一梨の木ハ 右同断 一柿ハ右同断 一本も無之	
	一泊るといふ事ハ	連	re		う志り 一明日とハ う志やた	
	一火ヲ	べるヲ	連	re	ん本う 一腹痛ヲ 徒いあ類可	



一むこハ かふゝ 一妻ハ こ	し	s	まち 一女房を まち
かつむいり 一者や起事ハ 徒いな	し	s	
本起の者い 一跡ニ残連といふヲ よう	し	s	おまん
りおのまん 一昼前といふヲ とのの	し	s	け
一昨日を ぬまん 一昨日を 本	し	s	けのぬまん
ハ 連婦 四つニハ い年婦 五つニハ あ	し	s	起年ふ 六つニハ い者ぬ遍
五十八前ノ五つの言葉同前 百ハ あ	し	s	き年本つ 千ハ 王ん遍 志年まな本つ
本つ 一束ハ 志年志やけ 二十五ヲハ あ	し	s	き年い可志満本つ 右是迄物の数可そへ候事
一筆も 同前 一墨ハ 者川	し	s	一舟のおもてハ ちつふな
つ婦お志よろ 一舟ノ中を ちつふの	し	s	けた
一王らをハ 王つて	し	s	一黒米 むりくり 一白米ヲ 飛りけり
又ハ も	し	s	共言
一達者といふ お起ら	し	s	の 一よ王川多可といふヲ 志んぎ
一不知といふ事ハ いらも	し	s	可れ 一腹を くい 一痛事ヲ ある
一鼻を 忍川婦 一く志やミを 忍	し	s	な 一耳をき志やら
一 脇差ハ 忍む	し	s	一やりハ おつ婦 一大豆ハ大豆也
一 中道と言事ヲハ 志ん	志	s	起るう 一 左道と言事ヲハ 志もんるう
一本らの木ハ ふ	志	s	尔 一猿ハ一匹も無シ 一本うゐんと獣物猫このことし
ハ 志年志やけ 二十五ヲハ あしき年い可	志	s	満本つ 右是迄物の数可そへ候事
一木の耳の本くちハ かる	志	s	一錢をハ いち忍ん
一なめくちり 右同断 一鳥ハ 者	す	s	く類 一鶯ハ やと多
一蚊ハ きゝ里 一者いハ も	寿	s	一蜂ハ 志や屋
一柱ハ ゆく	寿	s	へ 一?ハ 里可尔 一者りハ いてめ尔
一 雪ヲハ お者	せ	s	一 風ヲハ 連いら 一 日月ヲハ 徒ゝ婦
一筆も 同前 一墨ハ 者	川	s	し 一舟のおもてハ ちつふな
一春ハ 者い可類 一夏ハ	さ	sa	く 一秋ハ徒可くふ
七つニハ あるあん遍 八つニハ 徒遍	さ	sa	ん遍 九つニハ 志年遍さん遍
ニハ 徒遍さん遍 九つニハ 志年遍	さ	sa	ん遍
事ヲハ ほ川婦 一痛ト言事ヲハ い多	し	sa	や(ゝ)
一飛ぎをハ こ可	し	sa	や者 一こむらをハ う連ベ 一足ハ て満
一 雲ヲハ 尔しくろ 一人ヲハ	志	sa	やも
一 物之無キ事ヲハ い	志	sa	やま 一物の在事ヲハ あ年ハお可い
一あ多満ハ	志	sa	や者 一飛多いハ のい本ろ 一口ノ内ニ而物のとける事ヲハ るう
一としぬけと生物 一川をそハ え	志	sa	やまん 一蛇ハ とく尔
一寝間を しやうき 一臺所を う	志	sa	や
一 山ノ脇ハ	志	sa	やまけ 一山ノ平地ハ てなし 一山ノ奥ハ かつち
一山ヨリ下ルを	志	sa	やん 一天上へ上ル事ヲ 里起多あ満
一主といふハ 忍ち 一小袖ハ	志	sa	やら遍 一頭ノ髪 いもくふ
り立を 志ぶやあん 一納る事ヲ 忍	志	sa	やむ 一綱をハ や
一今日を たんど 明日を 尔	志	sa	や多 一あさ川てヲ おや志ゆむ
一皆此方へよれといふヲ おふび多の	志	sa	やたお可ひ
一一切の道具外底ヲ あ	志	sa	やま 一破れる物を あん遍うぶし
一火ヲもミて出スを ち起	志	sa	やゝ 一本くちハ む尔ん
一弟をハ 者ゝ起 一あ年を	志	sa	や者
一く志やミを 忍しな 一耳をき	志	sa	やら
王んとの お起くるミ 一弁慶をハ	志	sa	やまよん類
一あ多満ハ 志	や	sa	者 一飛多いハ のい本ろ 一口ノ内ニ而物のとける事ヲハ るう
一としぬけと生物 一川をそハ え	志	ya	sa まん 一蛇ハ とく尔
一寝間を しやうき 一臺所を う	志	ya	sa
一 山ノ脇ハ	志	ya	sa まけ 一山ノ平地ハ てなし 一山ノ奥ハ かつち
ふ事ハ 連う志り 一明日とハ う	志	ya	sa た
一山ヨリ下ルを	志	ya	sa ん 一天上へ上ル事ヲ 里起多あ満
一主といふハ 忍ち 一小袖ハ	志	ya	sa ら遍 一頭ノ髪 いもくふ
立を 志ぶやあん 一納る事ヲ 忍	志	ya	sa む 一綱をハ や
一今日を たんど 明日を 尔	志	ya	sa 多 一あさ川てヲ おや志ゆむ

一 皆此方へよれといふヲ おふび多の志	や	sa	た	お	可	ひ
一 一切の道具外底ヲ あ志	や	sa	ま	一	破	れる物を あん遍うぶし
一 火ヲもミテ出スを ち起志	や	sa	ゝ	一	本	くちハ むルん
一 弟をハ 者ゝ起 一 あ年を 志	や	sa	者			
一 く志やミを ゑしな 一 耳をき志	や	sa	ら			
一 飛ぶぎをハ こ可し	や	sa	者	一	こ	むらをハ う連ベ 一 足ハ て満
んとの お起くるミ 一 弁慶をハ 志	や	sa	ま	よ	ん	類
一 湯をハ	せ	se	ゝ	可	一	汁をハ お者 一 塩をハ 尔し□
ハ せいましけ 一 海川の貝類をハ	せ	se	い			
一 家をハ ち	せ	se	一	驚	ハ	か者ちり 一 熊鷹 あち
姥をハ 志よう多んころ 一 や年ハ	せ	se	起	た	ひ	
帯を 飛やう川ゝけ 一手ぬくいを	せ	se	ん	可	起	
一 肩ハ 本なし 一 せな可ハ	せ	se	川	る		
一 内ノ者と言事ヲハ う	し	si	おい	一	その物と言事ヲハ 婦	
ハ 者らさん多ひけ連 一 餅をハ	し	si	と			
一 ま那こをハ	し	si	起	一	座	當をハ 志起なへ 一 腹ヲハ 志川く
一 中道と言事ヲハ	志	si	ん	志	起	るう 一 左道と言事ヲハ 志もんるう
志ん志起るう 一 左道と言事ヲハ	志	si	も	ん	る	う
一 神ヲハ	志	si	い	の	の	本り可もひ 一 侍と言事ヲハ 尔し者
一 塩をハ	志	si	川	本	一	粥をハ うせ 一 行事ハ おま□
をハ おのゝ 一 尔くひといふ事をハ	志	si	と	ま		
一 き川く尔くひ事ヲハ 本ろのやい	志	si	と	満	一	御身ト言事ハ や尔
亦 志やう可い 一 骨折と言事ハ	志	si	ん	き		
一 苦キ事ハ	志	si	う	一	酸	き事ハ 志や可け 一 よめ取ヲハ 志う
一 あ婦ハ	志	si	ら	う	一	婦よう 少もなし 一 うなかふし ゑ可ふ年
一 骨折ハ い	志	si	起	な	ん	こ路 一 下ニいよとハ 志りか多あ遍
一 泊るといふ事ハ 連う	志	si	り	一	明	日とハ う志やた
一 天氣能をハ	志	si	り	飛	類	可 一 天をハ 志り 一 何ニ而も
天氣能をハ 志り飛類可 一天をハ	志	si	り	一	何	ニ而も
一 休と言事 ゑ	志	si	起	な	ん	一 おけといふ事ヲ ほつ本う
んこ路 一 くゝ里付多といふことを	志	si	な	ゝ		
一 徒なぐといふ	志	si	り	ご	て	一 物ヲとく事ヲ 飛多
一 介むり立を	志	si	ぶ	や	あ	ん 一 納る事ヲ ゑ志やむ 一 綱をハ や
一夜の事	志	si	り	く	ん	祢 一 夜明多ることいふヲ 志り遍け
志りくん祢 一 夜明多ることいふヲ	志	si	り	遍	け	
一 暁といふヲ	志	si	り	お	の	まん 一 昼前といふヲ とののしけ
日を 尔志や多 一 あさ川てヲ おや	志	si	ゆ	む		
一 明後日を	志	si	む	け	一	昨日を ぬまん 一 昨日を 本しけのぬまん
一	志	si	年	ふ		
ゝ 八つニハ 徒遍さん遍 九つニハ	志	si	年	遍	さん	遍
同前 百ハ あしき年本つ 千ハ 王ん遍	志	si	年	ま	な	本つ
万ハ 王な本つ 一 束ハ	志	si	年	志	や	け 二十五ヲハ あしき年い可志満本つ 右是迄物の数可そへ候事
万ハ 王な本つ 一 束ハ 志年	志	si	や	け	二	十五ヲハ あしき年い可志満本つ 右是迄物の数可そへ候事
一 青キ事ヲ	志	si	う	年	ん	一 赤キ事ヲ ふう連
一 一切物の形ハ	志	si	り	き	一	浅黄のちらしハ に志やう
お起らしの 一 よ王川多可といふヲ	志	si	ん	ぎ		
を 尔志や多 一 あさ川てヲ おや志	ゆ	si	む			
一座敷をハ しゃう 一 寝間を しゃ	う	so	き	一	臺	所を う志や
一座敷をハ	し	so	や	う	一	寝間を しゃうき 一 臺所を う志や
一座敷をハ しゃう 一 寝間を	し	so	や	う	き	一 臺所を う志や
ゝ里 一 者いハ も寿 一 蜂ハ	志	so	や	屋		
川蟬ハ	志	so	や	う	可	ひ 一 山姥をハ 志よう多んころ 一 や年ハ せ起
一 舟のともをハ ちつ婦お	志	so	た	ひ		
一 志りをハ お	そ	so	よ	ろ	一	舟ノ中を ちつふのしけた
			ろ	一	玉	く起ハ ち 一 玉門を 本川キ

一者いハ も寿 一蜂ハ 志	や so	屋
川蟬ハ 志	や so	う可ひ 一山姥をハ 志よう多んころ 一や年ハ せ起たひ
一座敷をハ し	や so	う 一寝間を しやうき 一臺所を う志や
一舟のともをハ ちつ婦お志	や so	うき 一臺所を う志や
里 一者いハ も寿 一蜂ハ 志	よ so	ろ 一舟ノ中を ちつふのしけた
走り 右同断 一志やくしをハ 可せ	ゝ so	や屋
一既ニ言事ヲ お志や	う su	婦 一飛さくハ 婦起な
一と	う su	ら 一よふ来多といふヲ 飛る可
一山鳥ハ 婦ミ類い 一鳩ハ く	し su	ぬけと生物 一川をそハ え志やまん 一蛇ハ とく尔
一鳩ハ く	し su	ほ
一生子ハ うた 一う久ひハ	し su	ゑとい多 一蟬ハ や起 一川鳥ハ 可つけん
一杉の木をハ	志 su	ぶん 一蟹ハ あんはや
一者しハ 者ゝす 一なべ	志 su	ゆんぐ 一松をハ 婦川婦 一くりをハ やむ
くハ 右同断 一御なべ ふれ可尔	志 su	う 一釜 右同断
一者な寿事ヲ	志 su	ゆ 一 むしろ 右同断
一西風ハ	志 su	ゆら 一物ヲ追といふ おけ遍
か多者ちり 一高き処へ上ルを へめ	寿 su	む連ら 一東風ハ あし 一 同飛可多も同前
水走り 右同断 一志やくしをハ 可	せ su	う婦 一飛さくハ 婦起な
一坊主をハ 遍	そ su	り 一山ノ神をハ の本類可もい 一山ヲハ
一杉の木をハ 志	ゆ su	んぐ 一松をハ 婦川婦 一くりをハ やむ
ハ 右同断 一御なべ ふれ可尔志	ゆ su	一 むしろ 右同断
一者な寿事ヲ 志	ゆ su	ら 一物ヲ追といふ おけ遍
りハ いぬへ 一火者しハ あ遍者	し suy	
一者しハ 者ゝ	suy	一なべ 志う 一釜 右同断
十二ハ 王ん遍 二十ハ 本	つ t	三十八 王ん遍本つ 四十二ハ 徒本川
二十ハ 本つ 三十ハ 王ん遍本	つ t	四十二ハ 徒本川
ハ前ノ五つの言葉同前 百ハ あしき年本	つ t	千ハ 王ん遍志年まな本つ
あしき年本つ 千ハ 王ん遍志年まな本	つ t	
万ハ 王な本	つ t	一東ハ 志年志やけ 二十五ヲハ あしき年い可志満本
		つ 右是迄物の数可そへ候事
やけ 二十五ヲハ あしき年い可志満本	つ t	右是迄物の数可そへ候事
一王らをハ 王	つ t	てし 一黒米 むりくり 一白米ヲ 飛りけり
一ゆびハ て起 一乳吞事を と	つ t	といく連といふ
一 足袋ヲハ けり 一 川をハ 遍	川 t	一 上川と言事ヲハ 遍ないた
ハ 本く年本ほ 一 女の子をハ ま	川 t	年本ほ
一鹿ヲハ ゆつく 一水神ヲハ 遍	川 t	可もひ 一久敷ト言事ハ な可らてい
一姪ハ ま	川 t	可りこ 一甥ハ かりこ 一 類共ハ あ者
つ 三十ハ 王ん遍本つ 四十二ハ 徒本	川 t	
遍川 一 上川と言事ヲハ 遍ない	た ta	
一生子ハ う	た ta	一う久ひハ 志ぶん 一蟹ハ あんはや
う類ことり 一山ノ頭上を ゆぶりき	た ta	い
事ハ 連う志り 一明日とハ う志や	た ta	
一今日を	た ta	んど 明日を 尔志や多 一あさ川てヲ おや志ゆむ
一皆此方へよれといふヲ おふび多の志や	た ta	お可ひ
一こ連てもといふヲ	た ta	ん遍祢 可い起飛るか 一物ヲ法を
お志よろ 一舟ノ中を ちつふのしけ	た ta	
一陸道を 屋べ可類 一多者こをハ	た ta	ん者こ
を か満かり 一物を突を ゆ	だ ta	
一冬ハ ま	多 ta	一めしヲハ あま母 一飛へヲハ 飛や者
一浪ヲハ の	多 ta	一海ヲハ あ川い 一舟をハ ちつ婦
一 下川と言事ヲハ 者那い	多 ta	一 川の深事ヲハ お本
言事ヲハ ほ川婦 一痛ト言事ヲハ い	多 ta	しや(ゝ)
海草ハ何ニても てむ尔 一濱ハ お	多 ta	一砂をハ右
一鳥ハ 者すく類 一鷲ハ やと	多 ta	
とい	多 ta	とも言
一鳩ハ くしゑとい	多 ta	一蟬ハ や起 一川鳥ハ 可つけん

一 峯ハ き	多	ta	ひ	一 けら者ハ	の起	一 入口ハ	本ノ
一 茶せん 右同断 一 ご起を い	多	ta	げ				
“なんこ路 一下ニいよとハ 志りか	多	ta	あ遍				
を 志やん 一天上へ上ル事ヲ 里起	多	ta	あ満				
一 沖ニ在嶋を 連婦	多	ta	ん嶋の本ノリ	一 石をハ	ま多嶋と言		
一 沖をハ 連婦	多	ta		一 是悲ないといふを	ゑち連ん可ひ		
ふ 志りごて 一物ヲとく事ヲ 飛	多	ta					
一 今日を たんど 明日を 尔志や	多	ta		一 あさ川てヲ	おや志ゆむ		
一 皆此方へよれといふヲ おふび	多	ta		の志やたお可ひ			
祢王ありき 一とこへ行トいふヲ 祢	多	ta	おまん				
底をハ ら婦	多	ta		一 一切ノ物の内ニ在をハ	ら婦多お可ひ		
多 一 一切ノ物の内ニ在をハ ら婦	多	ta	お可ひ				
いふヲてう可ひ 一爰へ来ルといふヲ	多	ta	んご多んゑく本ろ				
てう可ひ 一爰へ来ルといふヲ 多んこ	多	ta	んゑく本ろ				
一天をハ 里起	多	ta	ん 一雨のふるをハ	あし 一 硯をハ			
一 正月を とい	多	ta	年 一 二月ヲ	者ぶらく 一 三月ヲ	もちうふ		
るし 一金ハ カル 一 銀ハ 連	多	ta	るカル				
一 鶴ハ 遍	多	ta	ちり 一 雁ハ	くいとウ 一 鴨ハ	こべ志		
遍川可もひ 一久敷ト言事ハ な可ら	て	te	い				
一?ハ 里可尔 一 者りハ い	て	te	め尔				
ま多へ	て	te	とく				
一 徒なぐといふ 志りご	て	te	一物ヲとく事ヲ 飛多				
一 王らをハ 王つ	て	te	し 一 黒米 むりくり 一 白米ヲ	飛りけり			
一 ゆびハ	て	te	起 一 乳吞事を	とつといく連といふ			
一 鶴ハ 遍多ちり 一 雁ハ くい	と	to	う 一 鴨ハ	こべ志			
一 火ヲハ あ遍 一 あめヲハ あぶ	と	to					
く事ヲハ ちし可類 一 念比人ヲハ	と	to	くい 一 我と言事ヲハ	てう可ひ			
一 殿といふ事ヲハ かもい	と	to	の				
ハ おのノ 一 尔くひといふ事をハ 志	と	to	ま				
一 き川くくひ事ヲハ 本ろのやい志	と	to	満 一 御身ト言事ハ	や尔			
者らさん多ひけ連 一 餅をハ し	と	to					
ちい志やまも 一 帰る可と言事ハ へ	と	to	川ふ				
一 爰満いと言事ハ	と	to	ふへ 一 口ノからいと言事ハ	は類可流			
一 磯ハ し満 一 畑をハ	と	to	ひ 一 田ハ	田那り少も無之也			
一 川をそハ え志やまん 一 蛇ハ	と	to	く尔				
	と	to	い多とも言				
一 鳩ハ くしゑ	と	to	い多 一 蟬ハ	や起 一 川鳥ハ	可つけん		
一 海上な起多るをハ の	と	to	飛り可 一 大波立るあらいをハ	るやベ本			
ヲ 志りおのまん 一 昼前といふヲ	と	to	ののしけ				
一 昼をハ	と	to	うかつふ 一 昼過をハ	とうかつふ本け連			
一 昼をハ とうかつふ 一 昼過をハ	と	to	うかつふ本け連				
一 正月を	と	to	い多年 一 二月ヲ	者ぶらく 一 三月ヲ	もちうふ		
一 ゆびハ て起 一 乳吞事を	と	to	つといく連といふ				
一 ゆびハ て起 一 乳吞事を とつ	と	to	いく連といふ				
但雨降る杯ハあふ	ど	do	免しと言				
一 今日を たん	ど	to	明日を 尔志や多 一 あさ川てヲ	おや志ゆむ			
一 山ノ尾をハ	く	tu	う 一 山ノ平ハ	う類ことり 一 山ノ頭上を	ゆぶりきたい		
といふ事ハ いらもし可れ 一 腹を	く	tu	い 一 痛事ヲ	ある			
一 海ノ神ト言事ヲハ あ	つ	tu	い可もい 一 酒ハ酒なり 一 熊ヲハ	本くゆく			
一 浪ヲハ の多 一 海ヲハ あ	川	tu	い 一 舟をハ	ちつ婦			
一 たこをハ あ	川	tu	い那 一 鮑ヲハ	あい飛 一 稲ヲハ	せ		
一 よぶといふ事ヲ 本	川	tu	ゑ 一 追懸るといふヲ	のし			
一 鼻を ゑ	川	tu	婦 一 志やミを	ゑしな 一 耳をき志やら			
一 肩ハ 本なし 一 せな可ハ せ	川	tu	る				
起事ハ かつむいり 一 者や起事ハ	徒	tu	いなし				
べるヲ 連ん本う 一 腹病ヲ	徒	tu	いあ類可				
七つニハ あるあん遍 八つニハ	徒	tu	遍さん遍 九つニハ	志年遍さん遍			

本つ 三十ハ 王ん遍 <sup>〴</sup> 本つ 四十ニハ	徒 tu	本川
志る 一人を同道シ而合せんといふ	徒 tu	らハゑくぬ可るなんころ
一	と tu	しぬげと生物 一川をそハ え志やまん 一蛇ハ とく尔
一 大蛇ハ あい祢川婦 一見 <sup>レ</sup> すハ	と tu	に
まん 一何ニ而も出るといふ事ハ へ	と tu	く
一 内ノ者と言事ヲハ	う u	しおい 一 その物と言事ヲハ 婦
一 生子ハ	う u	た 一う久ひハ 志ぶん 一蟹ハ あんはや
一 寝間を しゃうき 一臺所を	う u	志や
一 九月ヲ	う u	連ほけつ婦 一十月ヲ 志ゆなん徒婦
一 木綿を	う u	せ川 一袋ハ 右同断 一帯ヲ く
をハ こ可しや者 <sup>〴</sup> 一こむらをハ	う u	連べ 一足ハ て満
一 雪ヲハ	お u	者 <sup>〴</sup> せ 一 風ヲハ 連いら 一 日月ヲハ 徒 <sup>レ</sup> 婦
一 星ヲハ のち	う w	一 雲ヲハ 尔しくろ 一 人ヲハ 志やも
一 苦キ事ハ 志	う w	一 酸キ事ハ 志や可け 一よめ取ヲハ 志う
一 あ婦 <sup>〴</sup> ハ 志ら	う w	一 婦よう 少もなし 一うなかふし ゑ可ふ年
一 泊るといふ事ハ 連	う w	志り 一明日とハ う志やた
一 北風ハ まく那 一 静ヲハ 者	う w	け
一 四月ヲ き	う w	う堂川ふ 一五月ヲ 志ん志 <sup>〴</sup> つ婦
一 物の曲多るを へ	う w	け 一少トいふを 本ん 一物の遍多を やひやる
一 青キ事ヲ 志	う w	年ん 一赤キ事ヲ ふう連
ハ へ婦け 一物のこ本る <sup>レ</sup> 事ヲ 連	う w	け
底をハ ら	婦 w	多 一一切ノ物の内ニ在をハ ら婦 <sup>〴</sup> 多お可ひ
婦 <sup>〴</sup> 多 一一切ノ物の内ニ在をハ ら	婦 w	多お可ひ
底をハ ら婦	婦 w	多 一一切ノ物の内ニ在をハ ら婦 <sup>〴</sup> 多お可ひ
多 一一切ノ物の内ニ在をハ ら婦	婦 w	多お可ひ
年婦 五つニハ あし起年ふ 六つニハ い	者 wa	ぬ遍 <sup>〴</sup>
薪と云事をハ あべあ連 一 水をハ	王 wa	川可
十二ハ 王	王 wa	ん遍 <sup>〴</sup> 二十八 本つ 三十ハ 王ん遍 <sup>〴</sup> 本つ 四十ニハ 徒本川
十二ハ 王ん遍 <sup>〴</sup> 二十八 本つ 三十ハ	王 wa	ん遍 <sup>〴</sup> 本つ 四十ニハ 徒本川
つの言葉同前 百ハ あしき年本つ 千ハ	王 wa	ん遍 <sup>〴</sup> 志年まな本つ
万ハ 王	王 wa	な本つ 一束ハ 志年志やけ 二十五ヲハ あしき年い可 志満本つ 右是迄物の数可そへ
一何方ヨリ来ルトいふヲハ 祢	王 wa	ありき 一とこへ行トいふヲ 祢多おまん
一 王らをハ	王 wa	つてし 一黒米 むりくり 一白米ヲ 飛 <sup>〴</sup> りけり
一 可満ハ よく遍 <sup>〴</sup> 一 鞞ハ く川く	王 wa	
王ろ支と言事ヲハ	う we	ゑん 一 死寿類と言事ヲハ らい
事ヲ 志ゆら 一物ヲ追といふ おけ	遍 we	
王ろ支と言事ヲハ	う we	ゑん 一 死寿類と言事ヲハ らい
ヲ 志ゆら 一物ヲ追といふ おけ遍	遍 we	
一 鶴ハ 遍多ちり 一 雁ハ く	い y	とう 一鴨ハ こべ志
一 春ハ 者	い y	可類 一夏ハ さく 一秋ハ徒可 <sup>〴</sup> くふ
ヲハ ちし可類 一 念比人ヲハ とく	い y	一 我と言事ヲハ てう可ひ
ハ うゑん 一 死寿類と言事ヲハ ら	い y	
志やま 一 物の在事ヲハ あ年ハお可	い y	
一 浪ヲハ の多 一 海ヲハ あ川	い y	一 舟をハ ちつ婦
可 一 殿といふ事ヲハ かも	い y	との
一 き川く尔くひ事ヲハ 本ろのや	い y	志と満 一御身ト言事ハ や尔
志や介 <sup>〴</sup> り 一さむいと言事ハ めいら	い y	け連
一たこをハ あ川	い y	那 一 鮑ヲハ あい飛 <sup>〴</sup> 一 稲ヲハ せ
一たこをハ あ川い那 一 鮑ヲハ あ	い y	飛 <sup>〴</sup> 一 稲ヲハ せ
遍そり 一山ノ神をハ の本 <sup>〴</sup> 類可も	い y	一山ヲハ
一 海ノ神ト言事ヲハ あつ	い y	可もい 一酒ハ酒なり 一熊ヲハ 本くゆく
一 海ノ神ト言事ヲハ あつ <sup>〴</sup> い可も	い y	一酒ハ酒なり 一熊ヲハ 本くゆく
一 貴キ事ハ くミチ 亦 志やう可	い y	一骨折と言事ハ 志んき
一あ多満ハ 志や者 <sup>〴</sup> 一飛多 <sup>〴</sup> いハ	い y	本ろ 一口ノ内ニ而物のとける事ヲハ るう
せいましけ 一海川の貝類をハ せ	い y	



## 対応表に関する注記

- ・?は現代語形との対応において直接対応するものがないか、疑問が残る事例（例: まちい「妻」の「い」は macihi の hi に対応するものかもしれないが断言できない、など）。
- ・Hは現代語との対応において直接対応するものがないが、長母音に対応する可能性があるもの。
- ・現代の音素（連続）と仮名表記とがどこからどこまで対応するとすべきか、定めがたいケースもある。例：く川く王 kupka 「鋤」（kaは「く王」に対応するとすべきか?）。このような場合は原則、対応に関わると思われる最初の仮名の直後に現代の音素（連続）を配置したが（く川くka王）、判断に迷うケースもあり、なお問題を残している。今後の課題としたい。

## 参考文献

- 佐藤知己（2014）「宝永元[1704]年空念上人筆録アイヌ語彙「狄言葉」の言語学的考察」『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』20: 1-133.